

## (独立行政法人教員研修センター委嘱事業)

### 教員研修モデルカリキュラム開発プログラム

# 報 告 書

プログラム名	「ヒドゥン・カリキュラム」の網羅的学習・省察に関するワークショップ型プログラム
プログラムの特徴	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 正規のカリキュラムとは別に、「教育する側が意図する、しないに関わらず、学校生活を営むなかで、児童・生徒自らが学びとっていく全ての事柄」(文科省「人権教育の指導方法等の在り方について〔第三次とりまとめ〕より)を意味する「ヒドゥン・カリキュラム(隠れたカリキュラム)」について研修するプログラムを開発する。</li><li>・ 具体的な事例を通し概念を理解するとともに、効果的な改善策を検討できるよう、ワークショップ型のプログラムとする。</li><li>・ 参加者が、本研修プログラムで学んだ内容や手法を各校の各種研修で伝えることにより、「ヒドゥン・カリキュラム(隠れたカリキュラム)」の重要性を勤務校に広げ、教師自らの実践を日常的に省察し改善につなげることができるよう展開とする。</li></ul>

平成27年3月

機関名 北海道教育委員会

# 「ヒドゥン・カリキュラム」の網羅的学習・省察に関するワークショップ型プログラムの概要

## 目的

参加者が、「ヒドゥン・カリキュラム（隠れたカリキュラム）」の概念や具体的な事例、その重要性を知り、本研修プログラムで学んだ内容や手法を各校の各種研修で伝えることにより、学校全体に広げ、教員が自らの実践を日常的に省察し改善につなげることができる。

## 背景

○ 「学び続ける教員像」の提起  
（平成24年中教審答申「教職生活の全体を通じた教員の資質能力の総合的な向上方策について」）  
→自らの実践を理論に基づき省察することが重要。

○ 大量退職・大量採用期の到来  
全国的に10年で教員の1/3が退職する。  
→教員の資質能力の向上が喫緊の課題

省察を実効性のある形で研修システム及び教員の日常の実践に組み込む必要がある。

## プログラムの概要

- 「ヒドゥン・カリキュラム（隠れたカリキュラム）」の概念の理解  
（写真などを使ったプレゼンテーションにより視覚に訴える。）
- 「ヒドゥン・カリキュラム（隠れたカリキュラム）」の事例を探し、交流
  - ・参加者が「隠れたカリキュラム」の事例を想起し、書き出す。
  - ・グループ内で事例や改善案を交流する。
  - ・各グループの交流内容を聞き合い、認識を広げる。
- リフレクション（省察）シートに記入
- 講師によるまとめや補足

## 期待される効果

- 教職生活を通じた省察及び他者の実践観察（授業参観など）の際に有効な視点や分析の手法を身につけることができる。
- 「学校や教師自身のあり方こそが最大の教育環境である」という考え方を、分かりやすく伝えることができる。
- 参加者が勤務校に戻り、本研修プログラムで学んだ内容や手法を各校の各種研修で伝えることにより、学校全体に広げ、教員自らの実践を日常的に省察し改善につなげることができる。

I	開発の目的・方法・スケジュール	
1	開発の目的	1
2	開発の方法	1
3	スケジュール	2
II	開発の実際	
1	研修の背景・ねらい	3
2	研修プログラム実施研修会	4
	【研修プログラム】	
①	学校運営研修会	5
②	教職経験者研究協議会	15
③	採用前研修	27
④	10年経験者研修	35
⑤	初任段階教員研修	42
III	成果及び課題	
1	研修の評価方法、評価結果	50
2	研修の成果と課題	53
IV	教育関係機関等との連携により得られる利点	53
V	その他	54

# I 開発の目的・方法・スケジュール

## 1 開発の目的

正規のカリキュラムとは別に、「教育する側が意図する、しないに関わらず、学校生活を営むなかで、児童・生徒自らが学びとっていく全ての事柄」(文科省「人権教育の指導方法等の在り方について[第三次とりまとめ]より)を意味する「ヒドウン・カリキュラム(隠れたカリキュラム)」について学習するワークショップ型の研修プログラムを開発し、研修会等で実施することで、「ヒドウン・カリキュラム(隠れたカリキュラム)」の重要性を認識するとともに、本研修プログラムで学んだ内容や手法を各校の各種研修で伝えることにより、学校全体に広げ、教師が自らの実践を日常的に省察し改善につなげることを目的とする。

## 2 開発の方法

本プログラムの開発2年目である。

1年目に開発したプログラムの課題を改善するため、北海道教育委員会と民間教育研究団体に所属する公立小・中学校教員を引き続き構成員とし、今年度より市町村教育委員会職員、大学教授を加えて「教員研修モデル・カリキュラム開発プログラム連携協議会」(以下「連携協議会」という)を組織し協議を重ねた。

昨年度は、初任者を対象としたプログラム開発にとどまったことから、受講者の経験年数等に応じたプログラムの開発を主とし、事例の追加・検討、リフレクションシートの開発を行った。

開発したのは、学校運営研修会(新任教務主任を対象とした研修)、教職経験者研究協議会(5年経験者研修)、10年経験者研修、初任段階教員研修(1年次)(※1)、採用前研修の各プログラムである。

プログラムで概念理解のために取り上げたのは、主に1年目に行った書籍や構成員が日々学校で見聞きしている実践事例(※2)などから抽出した事例である。紹介にあたっては、絵や写真を数多く使用し視覚に訴えるものとし、参加者が各校の校内研修でも広めることができるようなものとしている。

また、説明を聞くだけではなく、参加者が主体的に参加できるようワークショップ型の構成とした。さらに、研修後には「アンケート」、「リフレクション(省察)・シート」を回収し、その結果を分析し改善を行った。

なお、採用前研修については、道外に在住する採用候補者でも見られるよう、オンデマンドによる研修(インターネットを通じ研修プログラムを映像配信)とするため、オンデマンド用の研修プログラムの開発を行い、道立教育研究所のホームページ上で試聴できるようにした。

※1 初任段階教員研修・・・学習指導や生徒指導など経験に応じて求められる力を計画的に研修させる機会を確保するため、従来の初任者研修を4年間に振り分け、平成26年度より「初任者研修」から「初任段階教員研修」に名称を変更している。

(※2)

「隠れたカリキュラム」の抽出

書籍や日々の教育実践から「隠れたカリキュラム」と思われる事例を抽出し分類を行った。

【分類】

A 立ち居振る舞い 服装 言動  
B 授業 学習指導 ビッグマリオン効果  
C 学級経営 生徒指導 問題への対応 特活 環境整備  
D その他 ジェンダー 行事

「かくれたカリキュラム」【分類検討】		他カリとの関連		
「かくれたカリキュラム」【分類検討】		他カリとの関連		
「かくれたカリキュラム」【分類検討】		他カリとの関連		
No.	分類	出典	事例(実践事例、書籍からの引用、ビッグマリオン効果すべて含む)	他カリとの関連
1	C	野中匡行 2012 「必ずクラスを立て直す教師の回復術！」 学陽書房 2021頁	学級崩壊という現象は、2割の「やんちゃ」たちの中の2、3人がまず行動を起こしていく。次のような行動だ。①勝手な行動をする ②他の子供にちょっかいを出す 担任は、その2、3人へ向けて集中的に指導をする。「始終注意をする」が、そのうちに聞かなくなる。だから「始終叱りつける」ようになる。その2、3人はよっかいゆう他の子供たちど「もめごと」を起こすのでその対応に追われる。授業中、もめごとの解決のために関係者を廊下へ連れ出して指導をする。そのために、他の子供たちはたびたび自習になる。さらに、問題も多くなり、モグラたたき状態になる。ちょっかいを出された子供の保護者からは毎日のように電話が殺到する。その1つ1つに対応せざるをえない。管理職を含めての対応になる。この時には、すでに2、3人の問題ではなく、それと連動してもめごとを起こす子供たちが増えている。さらに拡大していく様相を示している。大体、5月から6月にかけてだ。	生徒指導

3 スケジュール（平成26年度）

時期	連携協議会内容	プログラムを実施した研修
H26.5	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「第1回連携協議会」の開催</li> <li>・プログラム開発に係る協議等</li> <li>【「学校運営研修会」のプログラム内容の検討等】</li> </ul>	
H26.6	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「第2回連携協議会」の開催</li> <li>・プログラム開発に係る協議等</li> <li>【「学校運営研修会」、「10年経験者研修会」のプログラム内容、事例の検討、リフレクションシートの改善等】</li> </ul>	○6月下旬から7月上旬 学校運営研修会 (道内各4ブロック)
H26.7	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「第3回連携協議会」の開催</li> <li>・プログラム開発に係る協議等</li> <li>【「学校運営研修会」の実施報告、「10年経験者研修会」、「教職経験者研究協議会（5年研）」のプログラム内容の検討、事例の検討、リフレクションシートの改善等】</li> </ul>	○夏期休業期間中 10年経験者研修会 (各教育局単位で実施)
H26.8	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「第4回連携協議会」の開催</li> <li>・プログラム開発に係る協議等</li> <li>【「10年経験者研修会」の実施報告、教職経験者研究協議会（5年研）」のプログラム内容の検討、事例の検討、リフレクションシートの改善等】</li> </ul>	○9月～10月 教職経験者研究協議会 (各教育局単位で実施)
H26.11	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「第5回連携協議会」の開催</li> <li>・プログラム開発に係る協議等</li> <li>【「教職経験者研究協議会（5年経験者研修会）」の実施報告、初任段階研修（1年次）、採用前研修プログラム内容の検討、事例の検討、報告書の作成】</li> <li>● 道外視察（上越市立谷浜小学校）</li> </ul>	
H26.12	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「第6回連携協議会」の開催</li> <li>・報告書作成に係る協議等</li> <li>【道外視察報告・報告書の作成等】</li> <li>・外部講師による講話 「子どもは変わる」 鈴木恵子氏</li> </ul>	○冬期休業期間中 初任段階教員研修（1年次） (各教育局単位で実施)
H27.1	<ul style="list-style-type: none"> <li>●報告書作成に係る指導・助言</li> <li>・指導・助言者 千葉大学名誉教授 宇佐美 寛 氏 野 中 信 行 氏</li> </ul>	○採用前研修 (北海道立教育研究所よりオンデマンド配信)

## Ⅱ 開発の実際

### 1 研修の背景・ねらい

本道教育の喫緊の課題である学力向上の取組を充実させるためには、個々の教師の教科指導力や学級経営力の向上を図ることはもとより、宿題や補習、学習規律の確保など学校全体として取り組むことが重要である。

しかしながら、公立学校教員の年齢構成を見ると、50歳以上の教員が全体の約4割を占めており、全国的に教員の大量退職や新任教員の大量採用が進行している。また、学校の小規模化や、教員の多忙化等により、教員間の学びの共同体としての機能（同僚性）が十分に発揮されず、教員間での知識や経験の伝承、意思の疎通が困難な傾向が見られ、学校全体としての取組が難しい状況となっている。

平成24年中教審答申「教職生活の全体を通じた教員の資質能力の総合的な向上方策について」では、「学び続ける教員像」を確立する必要があるとされ、教員の資質能力の向上には自らの実践を理論に基づき省察することが有効であるとしている。

現在、各都道府県教育委員会で実施している各経験者研修等では、「教育課程の編成・実施」等、いわゆる「隠れていないカリキュラム」についての説明・講義がなされているが、逆に「隠れた」部分についての説明や講義を受ける機会は少ないのではないかと推察される。

「ヒドゥン・カリキュラム（隠れたカリキュラム）」は、「教育する側が意図する、しないに関わらず、学校生活を営むなかで、児童・生徒自らが学びとっていく全ての事柄」（文科省「人権教育の指導方法等の在り方について〔第三次とりまとめ〕より」とされている。

つまり、すべての学校には「ヒドゥン・カリキュラム（隠れたカリキュラム）」が存在しているものであり、教員が自らの実践を理論に基づき省察することは、この「隠れた」部分を見つけ出すことに繋がり、その改善方策を見出すことが、教員の資質能力の向上、更には学力向上、学校改善に繋がっていく有効な手段の一つであると考えた。

このようなことから、省察を実効性のある形で研修システム及び教員の日常の実践に組み込むため、「ヒドゥン・カリキュラム（隠れたカリキュラム）」を学習する研修プログラムを開発し、道教委の各経験者研修等に組み入れ実施することとした。

また5頁以降で掲載している各研修プログラムを参考とし、研修の参加者が勤務校において、校内研修等でこの考え方や改善の仕方を広める事も期待できる。

## 2 研修プログラム実施研修会（実施順）

研修会名	実施日時	会場名	参加人数	備考 (教育局等)
学校運営研修会 ※4会場：ブロック開催 ※対象：新任教務主任	6/23(月)	胆振合同庁舎	64	渡島・檜山・胆振・日高
	6/24(火)	釧路市生涯学習センター	64	十勝・釧路・根室
	6/26(木)	北海道第二水産ビル ☆	74	空知・石狩・後志
	7/2(水)	稚内総合文化センター	58	上川・留萌・宗谷・オホーツク
		計	260	
10年経験者研修会	7/28(月)	留萌合同庁舎	6	留萌
	7/28(月)	宗谷合同庁舎	12	宗谷
	7/29(火)	北海道第二水産ビル	62	石狩
	7/29(火)	むろらん広域センタービル	35	胆振
	7/29(火)	日高合同庁舎	11	日高
	7/29(火)	オホーツク合同庁舎	39	オホーツク
	7/30(水)	上川合同庁舎	42	上川
	7/30(水)	十勝教育研究センター	92	十勝・釧路・根室
	7/31(木)	空知合同庁舎 ☆	35	空知
	7/31(木)	渡島合同庁舎	28	渡島・檜山
	8/5(火)	後志合同庁舎	35	後志
		計	397	
教職経験者 研究協議会 (5年研)	9/4(木)	北海道第二水産ビル	53	空知・石狩・後志
	9/8(月)	宗谷合同庁舎	22	宗谷
	9/16(火)	紋別市民会館 ☆	59	オホーツク
	9/30(火)	釧路市生涯学習センター	114	十勝・根室・釧路
	10/2(木)	渡島合同庁舎	26	渡島・檜山
	10/7(火)	苫小牧市教育・福祉センター	68	胆振・日高
	10/23(木)	上川教育研修センター	73	上川
	10/28(火)	留萌合同庁舎	18	留萌
	計	433		
初任段階教員研修 (1年次)	12/25(木)	オホーツク合同庁舎	53	オホーツク
	12/25(木)	釧路教育研究センター ☆	46	釧路
	1/6(火)	十勝合同庁舎	64	十勝
	1/6(火)	別海町役場	21	根室
	1/9(金)	上川合同庁舎	16	上川
	1/9(金)	留萌合同庁舎	11	留萌
	1/9(金)	宗谷合同庁舎	19	宗谷
	1/13(火)	北海道第二水産ビル	64	空知・石狩・後志
	1/14(水)	むろらん広域センタービル	37	胆振
	1/14(水)	日高合同庁舎	18	日高
	1/14(水)	檜山合同庁舎	23	渡島・檜山
	計	372		
採用前研修	1月～	北海道立教育研究所よりインターネットを通じ映像配信 ☆		

※公立小・中学校教員を対象とした研修（一部特別支援学校教員も対象）。

※☆印は、連携協議会の構成員が講師として実施。

※☆印以外は、各教育局指導主事が講師として実施。

# 研修プログラム①

## 学校運営研修会

～各研修プログラム～（P5～P49）

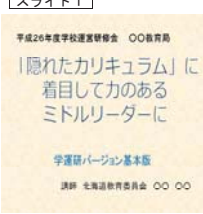
①学校運営研修会、②教職経験者研究協議会、③採用前研修（オンデマンド）については、研修を実施する際の流れをイメージを持てるよう、パワーポイントのスライドのほか講師の説明内容を掲載。④10年経験者研修会、⑤初任段階教員研修は、スライド（説明内容なし）のほか研修時の写真を添付。



## 研修プログラム① 学校運営研修会

【日 時】 平成26年6月26日(木) 9:40~10:40  
 【会 場】 札幌市(第二水産ビル) ※全道4ブロック開催のうち石狩ブロックで実施  
 【講 師】 北海道教育庁学校教育局義務教育課教職員研修グループ 主幹 松田 賢治  
 【参加者】 74名  
 【所要時間】 60分  
 【プログラムの概要】  
 ・新任教務主任を対象とした研修であり、職種性から児童・生徒に対する影響のほか、教師に対する影響も意識した内容としている。

**スライド1**



★【講師】  
 よろしくお願ひします。60分ということで、お付き合いいただければと思います。スライド構成は90分として作っていますので、少し早めの流れとなりますが、ついてきてください。後半は4人1グループで演習をしていきたいと思っています。

★【講師】  
 それでは資料に基づきながら説明をしていきたいと思っています。

★【講師】  
 最初に、この「隠れたカリキュラム」については、独立行政法人教員研修センターからの委嘱を受け、大学、市町村教育委員会、公立小中学校の校長、教頭、教諭の方たちを中心に連携協議会を組織し、「隠れたカリキュラム」を学習する研修プログラムの開発を行い、開発したプログラムを道教委の主催する研修会で実施することとしています。

**スライド2**

今日のテーマ「隠れたカリキュラム」

・「隠れたカリキュラム」という言葉を聞いたことがありますか？  
 ・別の言い方もあります。  
 (潜在カリキュラム、ヒドゥン・カリキュラム、レイタント・カリキュラム)

★【講師】  
 さて「隠れたカリキュラム」という言葉を今日初めて聞いた人はいますか。手を挙げてください

☆【参加者】  
 (参加者の6割程度が挙手・・・)

★【講師】  
 結構いるんですね、分かりました。「隠れたカリキュラム」は別の言い方もあります。「潜在カリキュラム」、「ヒドゥン・カリキュラム」、「レイタント・カリキュラム」などです。例えば「ヒドゥン」ですと「隠れている」、「隠されている」、「見えない」というような意味のカリキュラムということです。実はこの「隠れたカリキュラム」が皆さんの教育活動の中に入っているわけです。

外にも色々な定義はあるわけですが「教師が意図も意識もせずに子どもたちに教え続けている教育内容。」こういうものを「隠れたカリキュラム」と一般的に言います。

**スライド3**


「隠れたカリキュラム」

- 一般的に「教師が意図も意識もせずに子どもたちに教え続けている教育内容」のこと。
- 意図的なカリキュラム以上に、子どもたちへの影響は大きいと言われます。

教室の事例で考えてみましょう。

**スライド4**

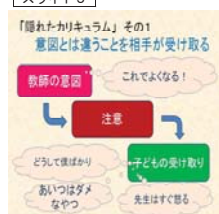
「隠れたカリキュラム」の事例1



★【講師】  
 教室でこういう場面がないでしょうか。  
 「おいA!、おしゃべりは止めなさい。うるさいぞ。何度言ったらわかるんだ。もう5年生だぞ、がんばらなきゃだめだぞ。」  
 皆さん、昨日の授業で同じようなことを言った人はいませんか？私は、今は優しく言いましたが、もっと感情的な言い方をする先生もいますよね。実際にこのスライドの様な場面って結構ありますよね、皆さん経験はないですか？私は、こういう経験は結構あるのですが・・・。当然、この場面、先生は、「この子を良くしよう。」という思いで、頻繁に注意しているわけです。ところが子どもはどう考えているのでしょうか。  
 注意されたAは「どうして僕ばかり注意されるんだろう。」、Aの隣にいる子どもは「Aはダメなやつなんだ。いつも先生に注意されて、先生の行動を見た子どもたちは「腹が立ったら怒ればいいんだ。」、感情的になっていいんだ。」ということ子どもたちはジワジワと感じ取ってしまいます。  
 これが「隠れたカリキュラム」と言われるものです。

**スライド5**

「隠れたカリキュラム」その1  
 意図とは違うことを相手が受け取る



★【講師】  
 つまり意図とは違うことが相手に受け止められてしまう。先生はAのことを良くしたいという思いで叱ったんですけどね。ところが、子どもには「どうして僕ばかり注意されるんだろう。」、別な子は「あいつはだめなやつだ。」、先生はすぐ怒るんだな。」ということが印象づけられてしまう。これが「隠れたカリキュラム」です。  
 もう一つ事例を紹介しましょう。

**スライド6**

「隠れたカリキュラム」の事例2

この教室環境は、子どもたち何を伝えていますか？

私の机の上や中も、汚くていいや

★【講師】  
 実はこの写真、ある学校の教室の状況です。皆さんの学校はどうでしょうか。この事例は、子どもたちに何を伝えていますか。  
 ☆【参加者】  
 汚れてもいいんだ。  
 ★【講師】  
 なるほど。「汚れてもいいんだ」ということが伝わっている。他の方はどうですか。  
 ☆【参加者】  
 片付けなくていいや。  
 ★【講師】  
 そういうことなんです。今、お二人の方が発言してくれた事が伝わってしまっている可能性があるわけです。こういう環境で子どもたちが長い間生活していると、子どもたちは自分の机の上や中も「汚くてもいいんだ」という印象を持って成長していってしまいます。

**スライド7**

「隠れたカリキュラム」その2  
 意図しないままに伝えてしまう

環境を軽視または意識できない → 問題ないだろう → 注意も改善もせずに放置 → これを基準に行動すればいいんだな → 子どもの受け取り → 先生は頼りにならないな

★【講師】  
 これが「意図しないままに伝わってしまう」という事例です。  
 先生は「このぐらいは問題ないだろう。」と教室環境を軽視している。または全く教室環境について意識していないかもしれない。  
 このように先生が意図しないまま注意も改善もせずに放置したままにすると、子どもたちに「これでいいんだ。」という基準がいつの間にか定着していってしまうわけです。更には「先生はおかしいと思っていないんだな。」「頼りにならないんだな。」ということも子どもには印象付けてしまうということが実はあるのではないのでしょうか。先程6割位の方が「隠れたカリキュラム」という言葉を初めて聞いたということでしたので、この「隠れたカリキュラム」を覚えていただいて、この内容を学校でも浸透させていただければと思います。

**スライド8**

「隠れたカリキュラム」の怖さ

- 「よい!問題ない!」と思っているため、その行為を続けてしまい、継続的に影響が蓄積していく。
- 自分に問題があると思えないので、知らずに子どもを責めてしまったり保護者のせいにしてたりする。
- 他学級でも同じだと、間違った教え方や方法が定着し、学校全体の教育の質が低下する。

★【講師】  
 では、何故この「隠れたカリキュラム」を強調するのか。それは、先生は自分自身の行為が「よい」、「問題ない。」と思っているため、その行為を続けてしまう。そうすると知らない間に、継続的に子どもたちに影響が蓄積されてしまう。これが「隠れたカリキュラム」の怖さなんです。  
 それから、自分に問題があると思えない。つまり、私はちゃんとやっているが、「子どもが成長しないんだ。」「保護者のしつけが悪いんだ」と、子どもを責めてしまったり、保護者のせいにしてたりする事もあるということです。  
 今日には新任の教務主任の方が集まっています。皆さん学校のリーダーなわけです。会社もそうですが学校も組織で動いています。教務主任の私が学校を引っ張っていかねばならないと意気込んでいる方もいるかもしれませんが。私は勝手に色んな事をやり過ぎて良く叱られていたんですが、つまりこういうことです。「自分のクラスだけやればいいや。」と思ってしまふ。これはだめですよ。学校は組織で動いているわけですから。こういうクラスがあると、子どもたちにとって「あのクラスだけやっている。」「自分もやってもいいんだ。」「学級ごとでバラバラでもいいんだ。」ということが定着してしまい、学校全体の教育の質が低下するわけです。こういうことが、「隠れたカリキュラム」の恐ろしさということです。

**スライド9**

「隠れたカリキュラム」の影響は大

カリキュラム  
 教育課程

「隠れたカリキュラム」  
意図も意識もせずに伝えている教育内容

★【講師】  
 さて、ここでまとめておきます。カリキュラムの中には教育課程もあるわけですが、実は「隠れたカリキュラム」が潜んでいる。潜んでいる部分は、結構大きな部分を占めていますよね。この「隠れている部分」、いわゆる「意図も意識もせずに教え続けている教育内容」を意識することが大事なわけですね。

<p>スライド10</p> <p>これは、学級だけ？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育課程の中に</li> <li>・職員室に</li> <li>・会議の中に</li> <li>・学校行事の中に</li> <li>・学校としての判断の中に</li> </ul> <p>「隠れたカリキュラム」はないでしょうか？</p>	<p>★【講師】</p> <p>さて、主に前半は学級の中のお話をしました。「こういうことあるある。」ってうなずいていた方もたくさんいました。</p> <p>今日は学校運営研修会で教務主任の方が集まっています。皆さんはミドルリーダーですので、学校全体として考えてほしいと思っています。</p> <p>では、「隠れたカリキュラム」は学級だけでしょうか。教育課程の中にはないでしょうか。職員室はどうでしょうか。会議の中にはないですか。学校行事はどうでしょう。学校としての判断の中には「隠れたカリキュラム」は潜んでいないでしょうか。</p> <p>後半は、こういった事を考えていきたいと思います。</p>	<p>さんの学校ではそういうことは絶対に起こらないでしょう。安心しました。</p>
<p>スライド11</p> <p>教務の業務における例について考えてみましょう</p>	<p>★【講師】</p> <p>皆さんの教務の仕事の中にも「隠れたカリキュラム」が潜んでいるかもしれません。事例をあげて考えてみましょう。</p>	<p>スライド13</p>  <p>「隠れたカリキュラム」その1 意図とは違うことを相手が受け取る</p> <p>教務の思い 学年で揃えたい 「揃えてください」 絶対評価の はずなのに？ 相手の受け取り 教務は、ケチをつける</p> <p>★【講師】</p> <p>先程の教務の発言は、「同じ学年でバラバラは困るな。」「学年で揃えてほしいよね。」という思いで、そんなに意図して言ったわけではないのです。</p> <p>つまり、「揃えてください。」という事が中心の話だったわけです。しかし、教務の発言を受け取った先生はどうでしょう。「評価って絶対評価なんだよね。」「なんで教務はそういうことを言うのかな。」という教務への不信感が生まれてしまうわけです。それから「教務はケチばかりつける。」という思いも先生方は持ってしまう。今、参加している皆さんもそういった嫌な思いをされているかもしれませんが、これが先生方に影響を与えてしまう「隠れたカリキュラム」ということです。</p>
<p>スライド12</p> <p>問題1</p> <p>通知表を提出したら、芸術教科の評価に、かなりバラバラが...。そこで教務として「芸術教科の評価で、学年でAの数がバラバラです。学年で揃えてください」と言いました。この言葉で伝わるものは？</p>	<p>★【講師】</p> <p>さて、この事例。通知表が提出され、教務で確認していると、芸術教科の評価にバラツキがあったという事例です。教務としては「芸術教科の評価で、学年でAの数がバラバラです。学年で揃えてください。」と発言したわけですが、この言葉が先生方にどのように伝わっているのでしょうか。実はこの言葉に「隠れたカリキュラム」が潜んでいるのです。分かりますか？</p> <p>どなたかに聞いてみましょう。</p> <p>★【講師】</p> <p>どのように伝わっていると思いますか。</p> <p>☆【参加者】</p> <p>絶対評価なのに、学年で揃えてしまっているんだということが伝わってしまうと思う。</p> <p>★【講師】</p> <p>そうですね。すごく大事なことを答えていただきました。皆</p>	<p>スライド14</p> <p>問題2</p> <p>年度はじめ、年間行事予定や日課表・時数・学習のきまりなど、たくさんの教育課程にかかわるプリントを出しました。ところが、各学年に計画とは違う動きが目立つようになってきました。「やれやれ」と思いましたが、何も言いません。これは、何を伝えていますか？</p> <p>★【講師】</p> <p>次に、この事例。年度始めに教務として年間の計画を立ててお知らせしていると思います。</p> <p>年間の行事予定・日課表・時数・学習のきまりなど、皆さんの教育課程に関わるプリントを春先に出しますよね。ところが数か月立つと、各学年に計画とは違う動きが目立つようになるわけです。教務は「こまったもんだ。やれやれ。」と思うだけで何も言いません。</p> <p>これはどんな事が職員に伝わってしまうのでしょうか。</p>
		<p>スライド15</p>  <p>「隠れたカリキュラム」その2 意図しないままに伝えてしまう</p> <p>日々の教育活動と 計画の違いを軽視 または見過し 仕方ない 問題ない 注意も改善もせず に放置 相手の受け取り 教務の言葉は 軽い 計画は計画に すぎない</p> <p>★【講師】</p> <p>先程の事例は、教務は意図していないんです。教務は計画との違いがあるのに「まあいいや。」「問題ないや。」と安易に見逃がし、注意も改善もしない。そうすると相手の受け取りはどうでしょう。</p> <p>絶対計画どおりいかなければならないというわけではなく、柔軟に対応して行く場面も当然あるわけです。ただし、計画したものが何でも変わってしまえば、「計画は計画にすぎないんだな。」「教務の言葉って軽いから無視してもいいや。」という印象を持たれてしまうわけです。</p> <p>このように、教務の中の仕事にも「隠れたカリキュラム」が潜んでいるということを意識することが大事なわけです。</p>

スライド16

問題3

こんな環境が  
放置されてい  
たら、職員に  
何を伝えていますか？  
グループで話し  
合ってみま  
しょう。



※時間の都合上スクール形式で交流



★【講師】

それでは、1回目の演習に入っていきたいと思います。4人1グループになっていますので、右前の方が司会になって進めていただければと思います。

この写真を見てください。

☆【参加者】

お～

★【講師】

これは何の写真なんでしょうね。実は学校の中の写真です。今日の研修のために敢えてこういう状態を作ってくれたのかもしれない。何の部屋だと思いますか。

☆【参加者】

参加者A 資料室。

参加者B 空き教室。

★【講師】

なるほど。

実は教材教具を入れている部屋らしいです。こんな環境が放置されていたら、職員に何を伝えていますかということをお3分間グループで話し合っただけで交流してみてください。

時間が少ないですので司会の方はすぐ始めて意見をもらってください。

※グループ交流で聞き取れた内容

- ・教務が中心になって片付けましようと思きかける必要があるのに何も言わない。「まあいいか。」と思っている。
  - ・他の先生方は教材教具を使っても適当に置いておけばいいやと思ってしまう。
  - ・こんな状況を放置して子どもたちを指導しているんだ。
- など

★【講師】※交流終了

それでは、3分経ちました。いろんな意見が出たと思います。この状態を良いとしたグループはさすがにないと思います。学校としては、この状況はだめだねということをおみなさん感じてもらったと思います。すでに対策まで考えてくれたグループもありました。さすが教務主任の先生方です。

今日の話はそれも大事なんです、これによって先生方に何が伝わっているかということを感じてもらえることが大事なんです。これを、教務の先生を何人か集めて片付けてしまえば、その場の問題は解決するかもしれません。そういうことではな

くて、この教材教具室の雑然とした状況を放置しておく学校文化がどうなりますかということなんです。どこかのグループが「1年でこうはならないよね。」「何年か放置されているんだよね。」という話題もあがっていました。つまり、これがこの学校の文化となってしまうんです。これが許されている学校かもしれません。それでいいですかというのが今日の話です。これと同じ学校はないですよ。皆さん大丈夫ですよ。皆さん「隠れたカリキュラム」のイメージが沸いてきたと思いますので次の段階に入りたいと思います。

スライド17

他にもたくさんありそうですね？

★【講師】

さて演習に入りますが、皆さんの学校にも「隠れたカリキュラム」がないでしょうか。他にもたくさんありそうですね。

スライド18



★【講師】

すでにお渡ししている演習ペーパー「隠れたカリキュラム発見・改善ワークシート」を用意してください。このスライドと同じペーパーです。

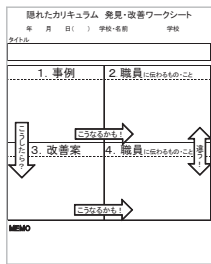
まず、左上の「1. 事例」というところから書き始めます。これまでの話を聞いて、今度は自分の学校の「隠れたカリキュラム」と思う事例を書いてください。(作業)

皆さん書けましたか？まだ書けてない人もいますね。そういうときは隣の人を頼りにしてください。ちょっと見せてもらってください。もしかしらヒントになるかもしれません。似たような事例が自分の学校にあるかもしれません。

では、次に右上の欄「2. 職員に伝わるもの・こと」です。今、皆さんが書いた自分の学校の「隠れたカリキュラム」かなと思うことが、先生方にどう伝わっている可能性があるかということ。

意図しなくて伝わっていたり、意識しないで伝わっていたものかもしれません。意図はしなかったんだけど、もしかしらこんな風に伝わっているのではないかなと思うことを書いてください。それではお願いします。(作業)

次に、左下の「3. 改善策」にいきます。左上の「1. 事例」

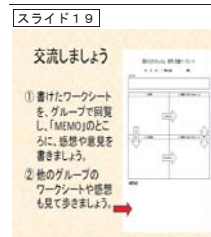


※スライド18の「隠れたカリキュラム発見・改善ワークシート」を拡大したものを示しています。

に対する改善策を記入してください。この改善策の欄は先程記入した2の「職員に伝わるもの・こと」を考えながら記入すれば分かりやすいかもしれません。この事例が職員にこう伝わっているんだ、だからこう改善するんだとイメージしていけば書きやすいかと思います。(作業)

次に、「4.職員に伝わるもの・こと」を記入してください。4は、今記入した3の改善策が「職員にどう伝わるか、どう印象を受けたか」ということを記入してください。(作業)

それでは、まだ途中の方もいらっしゃるかもしれませんが、皆さん4つのマスが埋まっているでしょうか。この後、皆さんで交流をします。交流の後、他のグループで何が話し合われたのか、どんなことに気付いたのかを知りたいですね。後で、歩き回る時間を作ります。歩き回ったときに皆さんが他のグループのワークシートを見て、「あっ、ちょっとこれ気になる」と感じるような、足が止まるようなキャッチコピーを一番上の「タイトル」のところに付けてください。印象を持てるようなキャッチコピーをつけられれば、足が止まるかと思えますので書いてみてください。(作業)



※MEMO欄（ワークシート下の余白部分）は、時間の都合上、最後に記入する場面を設定しています。

★【講師】  
みなさん、キャッチコピーは書けたでしょうか。では、交流をします。同じグループの人に「私はこうキャッチコピーを付けてみました。」と話せばいいんです。そうすれば、同じグループの皆さんもすぐにイメージが湧いて話しが進んでいくと思います。では、今度は左前の人が司会になってください。時間が短くて申し訳ないですが、4分、1人1分で交流を始めてください。お願いします。(交流)

それでは、そろそろグループ交流を終わりにして、次は皆さんに、この部屋を歩き回って他のグループの人が書いた「隠れたカリキュラム」を見てもらいます。歩き回ったときに、キャッチコピーを見て「ハッ」と思った所はよく見てください。参考になるかもしれません。それでは、お願いします。

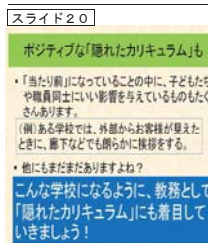
☆【参加者】  
(歩き回らわり、他の人の事例を確認中)

★【講師】  
それでは、席に戻ってください。結構見ることができたかなと思います。実はこの「隠れたカリキュラム」の研修はもう一つの狙いがあります。

今日は、皆さんにワークショップをやっていたきました。実は、このワークショップも私たちの開発したのになっていきます。

皆さんは、今日のようなワークショップの研修はあまり経験してなかったかなと思います。また、先生方の中には研修部を担当している方もいるかと思いますが。これは、校内研修等でも使えるワークショップとして提供していますので、是非参考としてください。

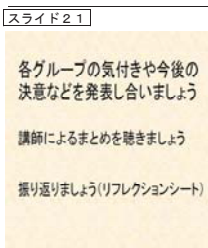
本当はこのMEMOの部分も併せてする予定でしたが、時間がありません。後で書いてもらおうと思います。



★【講師】  
さて、ここまでどちらかというとネガティブな「隠れたカリキュラム」の話をしてきたかなと思います。ネガティブな部分の方が多いかもしれませんが、でも実際にはポジティブな「隠れたカリキュラム」もあるんです。本来、学校はポジティブな「隠れたカリキュラム」も持っているはずなんです。それは気付いていないだけかもしれません。いわゆる当たり前になっていることの中に、子どもたちや職員同士にいい影響を与えていることがたくさんあると思います。

例を挙げて見ますと、物品を売ったりする業者さんが学校に出入りしますよね。その方がよくこういう話をしていました。「ある学校では、外部からお客が見えたときに、子どもたちも含め先生方もみんな廊下などで朗らかに挨拶する。昔からそうなんだよね。」と。

つまり、挨拶がみんなすばらしい、それが、その学校の文化なんです。でも、先生方は意識していないかもしれない。意図もしていないかもしれない。でも、子どもたちもしっかりと定着している。これがポジティブな「隠れたカリキュラム」ということです。他にもきっとまだまだありますよね。



※各グループの気持ちや今後の決意などの発表は時間の関係上省略しています。

★【講師】  
このような、ポジティブな「隠れたカリキュラム」を皆さんが教務として率先して意識していただけて、学校文化として定着させていくリーダーになっていただきたいです。

それでは、時間がほとんどありませんが、最後になります。「隠れたカリキュラム 発見・改善ワークシート」の様式の下の方にMEMOというところがあります。4人のグループでこのワークシートを回して、他の人の「隠れたカリキュラム発見・改善ワークシート」を見てMEMOの欄に感想や気付いた事を記入してください。

書き終えたら、事前にリフレクションシートをお渡ししているかと思いますが、リフレクションシートには、今日の研修で私が説明した「隠

れたカリキュラム」の事例や、歩き回った時に他の人が書いた「隠れたカリキュラム発見・改善ワークシート」を見て印象に残ったものを記入してください。

記入したら次に、自己評価の欄に記入してください。自己評価の欄は、「隠れたカリキュラム」について、自分が意識せず悪い影響を与えているときは「×」、意識していないが悪い影響を与えていないときは「△」、意識して悪い影響を与えないよう努めているときは「○」をつけてください。改善策の欄には「こんな改善策があるな。」というものを記入してください。

#### スライド22



#### ★【講師】

本日の講義は終了します。お疲れ様でした。

・今回の学校運営研修会では「適切な教育課程の編成と実施のために」というコマの中で、全体2時間半のうち前半1時間を「隠れたカリキュラム」の研修講座に充てましたが、「隠れたカリキュラム」を単独で実施する場合など、研修の状況に応じて以下のスライドも活用していただければと思います。

・時間的な余裕があれば、「アイスブレイク（アイスブレイキング）※1」をしてから本題に入ると、参加者同士の緊張がほぐれ、話しやすい雰囲気を作ることができます。

※1 アイスブレイク

・人と人のわだかまりを解いたり、話し合うきっかけをつくるためのちょっとしたゲームやクイズ、運動などのこと（日本フアンタレーション協会HPより）。

#### 【参考スライド】

##### グループづくり

- ・近くの( )人でグループをつくります。
- ・誕生日(年はまわなくていいです)を語り込んで、自己紹介をしましょう。
- ・今日が一番誕生日が适かった方が司会です

##### カリキュラム

- ・カリキュラム【curriculum】  
教育課程。学校教育の内容・計画を免連段階や学習目的に応じて配列したもの。(広辞苑)
- ・辞典では、カリキュラム＝教育課程
- ・現場では、同じでしょうか？

##### 教育課程

学校において編成する教育課程は、教育課程に関する法令に依り、各教科、道徳、外国語活動、総合的な学習の時間並びに特別活動についてそれらの目標やねらいを実現するよう教育の内容を学年に応じ、授業時数等との関連において総合的に組織した学校の教育計画である。  
(小学校学習指導要領解説総論編)  
※他校種についてもほぼ同様の記述

##### カリキュラムと教育課程

「カリキュラム」には「教育課程」という用語では書けない、広い意味が込められて「教育課程」と「カリキュラム」を使い分けようよくなった。子どもの側からみて、学習に動機づけられたものは学習意欲から生まれ、「子どもは何を学んだか」、「学びの履歴」といった意味を強く意識して用いられる。  
「カリキュラム」には目標、内容・教科のほか、教材・学習活動なども含まれ、広い概念として把握することができる。  
〔教育課程重要用語300の基礎知識〕天野正輝編集 明治図書

## 平成26年度学校運営研修会「隠れたカリキュラム」研修講座リフレクションシート

所属名	〇〇〇小学校
職名・氏名	△△ □□

本シートは、参加者が、講義・演習を基に各自のこれまでの取組について整理し、今後の実践に生かす方策を検討するための補助として活用するものです。

<記入の手順>  
「隠れたカリキュラム」の記入欄には、講義や演習の内容から、印象に残った「隠れたカリキュラム」を3点記入する。  
自己評価の欄には、それぞれの「隠れたカリキュラム」について、自分が意識せず悪い影響を与えているときは「×」、意識していないが悪い影響を与えていないときは「△」、意識して悪い影響を与えないよう努めているときは「○」をつける。改善策の欄には具体的な対策を記入する。  
※このシートは1日目の終了時に提出してください。  
※提出いただいたシートはお返しします。

## ■ 印象に残った「隠れたカリキュラム」

①隠れたカリキュラム： <b>教員同士での会話の仕方</b>	
自己評価 (○△×)  ○	改善策  ・児童・生徒に指導している以上、教員も日常的に意識していくことで良い手本となっていくのでは。
②隠れたカリキュラム： <b>会議の時間の設定</b>	
自己評価 (○△×)  ○	改善策  ・勤務時間内に会議の時間を設定し、時間を守ることができるよう工夫する。 ・内容の厳選も必要である。勤務時間内に会議が終わることで、教材研究の時間を確保できる。
③隠れたカリキュラム： <b>口語伝承「うちの学校は〇〇〇ですから…」</b>	
自己評価 (○△×)  ×	改善策  ・勤務校における当たり前をなくすよう努める。 ・今までの考え方ややり方に固執してしまわずに、子どもの実態に合わせた新しいやり方をどんどん取り入れ改善をしていく。

## 平成26年度学校運営研修会「隠れたカリキュラム」研修講座リフレクションシート

所属名	〇〇〇小学校
職名・氏名	□□ △△

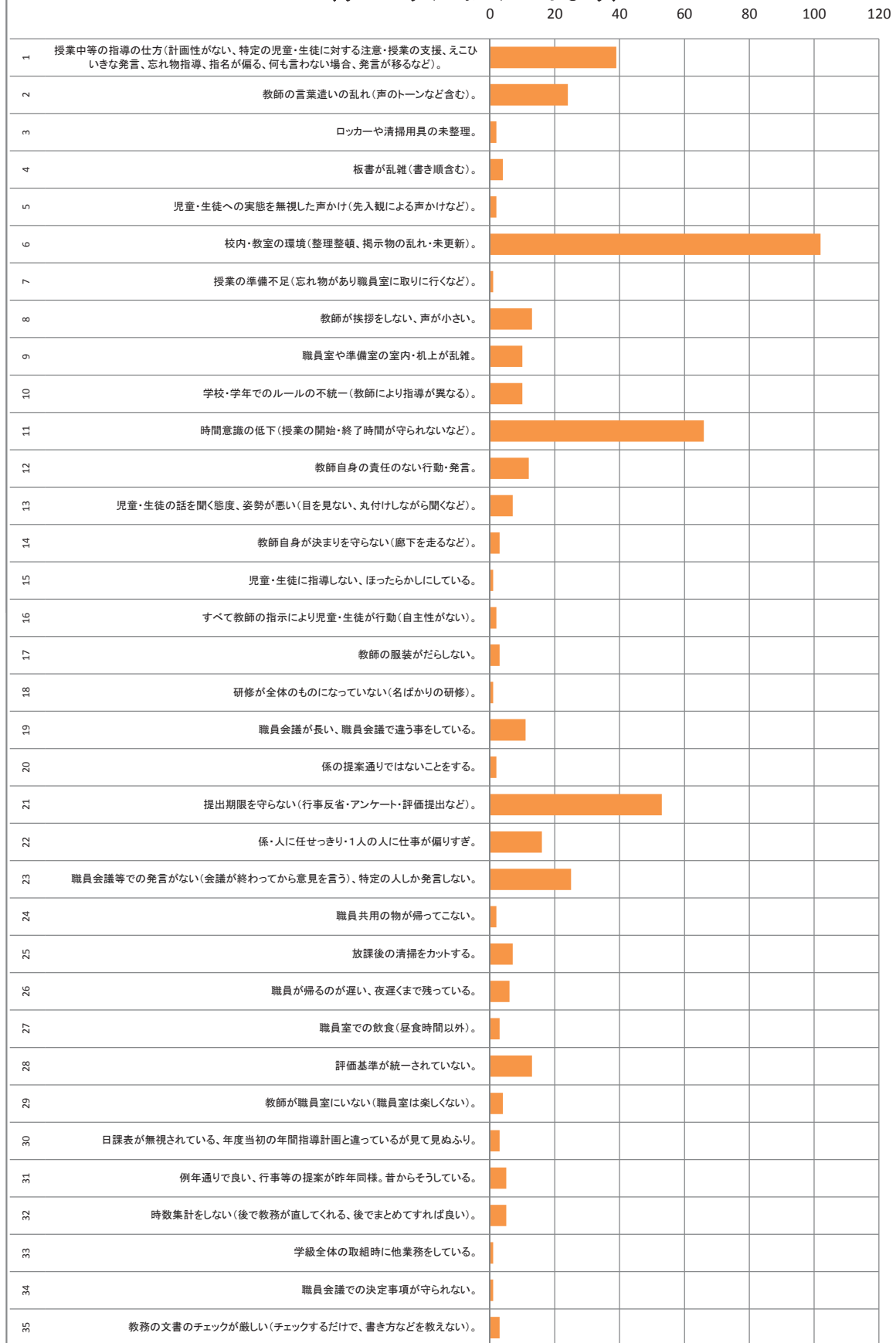
本シートは、参加者が、講義・演習を基に各自のこれまでの取組について整理し、今後の実践に生かす方策を検討するための補助として活用するものです。

<記入の手順>  
「隠れたカリキュラム」の記入欄には、講義や演習の内容から、印象に残った「隠れたカリキュラム」を3点記入する。  
自己評価の欄には、それぞれの「隠れたカリキュラム」について、自分が意識せず悪い影響を与えているときは「×」、意識していないが悪い影響を与えていないときは「△」、意識して悪い影響を与えないよう努めているときは「○」をつける。改善策の欄には具体的な対策を記入する。  
※このシートは1日目の終了時に提出してください。  
※提出いただいたシートはお返しします。

## ■ 印象に残った「隠れたカリキュラム」

①隠れたカリキュラム： <b>各種会議でベテラン教員の意見で話が進んでいく。</b>	
自己評価 (○△×)  ○	改善策  ・前もって若手教員に発言してもらう事を言っておき、必ず意見が上がるようにする。 ・ベテラン教員に若手の発言を促したり、聞いた上で発言してもらうようにする。
②隠れたカリキュラム： <b>何かあったら、清得カット。</b>	
自己評価 (○△×)  ○	改善策  ・清得の大切さをきちんと教師が押さえておくことが大切だと思いました。 ・「時間内で、できること。」を考えるのも、大切な学びの一つだと思います。
③隠れたカリキュラム： <b>提出物の期限（提出日を過ぎても、文書を受け取っている実感がある。）</b>	
自己評価 (○△×)  ○	改善策  ・提出日程について余裕を持って提示（本当の期日は自分の中で…。） ・誰が提出したのか分かるように、収集の仕方を工夫する。 ・全体周知の声かけを多くしたり、個別にもさりげなく進行状況を把握し声かけを行う。

## 新任教務主任が考えた「隠れたカリキュラム」 (リフレクションシートより)



・回答数462 (複数記述あり)



## ◇研修実施上での配慮事項等(空知・石狩・後志(石狩ブロック)学校運営研修会の例)

### ○使用教材

- ・パワーポイント
- ・「隠れたカリキュラム発見・改善ワークシート」
- ・リフレクションシート

### ○研修を実施する上で配慮した点

- ・「隠れたカリキュラム」の概念構築が不十分であることを想定し、最初は学級での事例を取り上げ、共通理解が図られるようにした。
- ・課題について、個人思考をした後、隣同士でのペアや、4人1グループでの協議をする機会を設定し、課題分析の幅の広がりをもてるよう配慮した。
- ・学校運営研修会の対象者である教務主任・研究担当等が、遭遇すると思われる「隠れたカリキュラム」に絞り込み、事例と改善策を検討するようにした。
- ・「隠れたカリキュラム発見・改善ワークシート」の作成に当たっては、個人思考の時間のあと、自由に歩き回って他の参加者のシートを閲覧する時間を設けることで、他者との受け止めの違いを確認し、課題把握の深まりを図った。
- ・リフレクションシートで、これまでの学校内での「隠れたカリキュラム」を省察することで、今後の組織的な改善策を想定することができるようにした。

### ○研修を実施した感想及び気付いた点

- ・「隠れたカリキュラム」に対する認知度が低いことがわかった。十分な概念構築が必要であると感じた。
- ・事例の取り上げ方として、写真を示したことで参加者の関心を高めることができ効果的であった。
- ・自由に歩き回って他の参加者のシートを閲覧する時間を設けたことで、自己の課題分析や、解決策の甘さを自覚することができた。
- ・リフレクションシートの記入の時間を十分に確保できず、省察の深まりが見られなかった。時間配分に留意する必要がある。

# 研修プログラム②

教職経験者研究協議会

## 研修プログラム② 教職経験者研究協議会

【日 時】 平成26年9月16日(火) 11:00～12:00

【会 場】 紋別市(紋別市民会館)

【講 師】 旭川市立愛宕東小学校 教諭 宇野 弘 恵

【参加者】 59名

【所要時間】 60分

【プログラムの概要】

- ・児童・生徒への影響として授業中での指導や学級活動を意識した内容としている。
- ※教職経験者研究協議会→他県で実施している5年経験者研修と同様

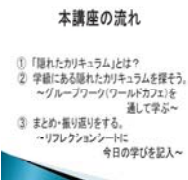
### スライド1



#### ★【講師】

みなさんこんにちは。旭川市立愛宕東小学校の宇野弘恵と申します。よろしくお願ひします。今日は、「見た目」とか、「教師の言動」などが、実は深く教室あるいは学校の教育に関わっているということを話をしていきたいと思っています。

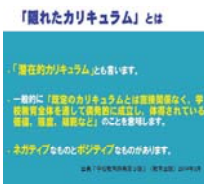
### スライド2



#### ★【講師】

今日の本講座の流れですが、最初に「隠れたカリキュラム」ってなんだろうということをお話します。次に、学級の中にある「隠れたカリキュラム」として、どんなものがあるかなということグループワークで探します。最後にまとめ・振り返りとして、リフレクションシートに今日の学びを記入するという流れです。

### スライド3



#### ★【講師】

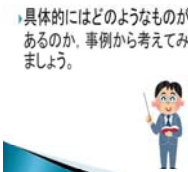
まず、「隠れたカリキュラム」についての説明です。「隠れたカリキュラム」を「聞いたことがある」という人は手を挙げてください。

☆【参加者】  
(参加者の約1割(5、6人)が挙手)

#### ★【講師】

「隠れたカリキュラム」は「潜在カリキュラム」という場合もあります。一般的には、「規定のカリキュラムとは直接関係なく、学校教育全体を通して偶発的に成立し、体得されている価値、態度、規範など」のことを指します。つまり、学校で教える一般的なカリキュラム以外にも教えていることが「隠れたカリキュラム」です。この「隠れたカリキュラム」には「ネガティブ」なものや「ポジティブ」なものがあります。

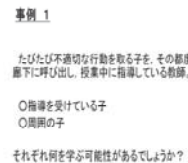
### スライド4



#### ★【講師】

では、具体的にどのようなものがあるか、事例を挙げて考えていきたいと思っています。

### スライド5



#### ★【講師】

先生(参加者)、この事例のような先生を見たことがありますか。

☆【参加者】  
自分がそうだなと思います。

#### ★【講師】

例えば、どんな時でしょう。

☆【参加者】  
授業中に、となりの人と騒いでいたときに「ちょっと、ちょっと」って呼んで指導したことはありました。

#### ★【講師】


教育現場ではよく見かける光景ではないかと思いますが、指導を受けている子ども、あるいは、指導を受けていないが、そ



**スライド10**

これを続けるか…


- ・A君は勉強ができないから、いつも先生が教えるに行くんぞ。
- ・A君はやっぱりいいなあ、ずるいなあ。
- ・A君以外の人はどうでもいいんだい。



★【講師】  
これを続けていくと、どんな可能性があるかということですが、「A君は勉強ができないからいつも先生が教えに行くんだ。」あるいは、「A君はやっぱりずるいなあ、A君ばかりかまってもらっている。」「先生はA君以外の人はどうでもいいんだ。」と周りの子どもは思っているかもしれません。

**スライド11**


教師の意図とは違う受け取り



★【講師】  
教師は、子どもが勉強ができるようになってほしいと善意で行動しているわけですが、子どもにはその善意が伝わっていない場合がある。教師は、Aというメッセージを発して、子どもに接しているのに、子どもはBという受け取りをするかもしれない。これは一つの「隠れたカリキュラム」です。

**スライド12**

事例3




- ・どのようなメッセージを受け取っている可能性があるでしょう。

★【講師】  
こちらの事例。先生（参加者A）、この写真を見ていかがですか。  
☆【参加者A】  
雑然としている。  
★【講師】  
先生（参加者B）は、この教室で毎日暮らしていたとしたら、どう思いますか。  
☆【参加者B】  
整理整頓できない、しなくてもいいと思ってしまう。

**スライド13**

これを続けると…


- ・教室はきれいにならなくてもよい。
- ・物を大事にする必要はない。
- ・落ちていたものは拾わなくてもよい。
- ・集団の中でも好き勝手にふるまってもよい。
- ・面倒なことはあとまわしでよい。



★【講師】  
では、これを続けるとどうなるか。  
さっき先生（参加者）が答えてくれたように、「教室はきれいにしなくてもいいんだ。」「物を大事にする必要はないんだ。」「落ちていた物は拾わなくてもいいんだ。」「写真ではボール道具がありました。」「片付けたくないから片付けないんだ。」ということが学級の中で通用してしまうかもしれません。さらには、「面倒なことは後回しにしよう。」とそんな風に受け取ってしまう可能性があるということです。

**スライド14**

事例4



- ・どのようなメッセージを受け取っている可能性があるでしょう。

★【講師】  
事例4です。  
「1時間目の開始時刻が過ぎても、朝の会が続いている。」  
中学校の場合は、教科担任が後に控えていますので、こういう事は余りないのかなと思いますが、いかがでしょうか。先生（参加者）の中学校では、朝の会が次の授業に食い込むということはありますか。  
☆【参加者】  
ほとんどありません。  
★【講師】  
あった場合は、どうなるのですか。  
☆【参加者】  
教科担任が困ると思う。  
★【講師】  
そうですね。授業が始められませんか。小学校ではどうでしょうか。  
☆【参加者】  
結構あるかと思います。  
★【講師】  
というところ？  
☆【参加者】  
問題行動が起きて、状況を確認するときなどに起きてしまいます。  
★【講師】  
なるほど。ありがとうございます。1時間目の授業が始まっているのに、隣のクラスから朝の歌が聞こえてきたり、教室を出入していたりという事例は、小学校では結構あるのではとないか

	<p>思います。</p> <p>この事例4では、チャイムが鳴っているのに自転車の乗り方について話しています。これ続けるとどうなるでしょうか。隣の人と1分ほど話し合ってください。</p> <p>(1分経過)</p> <p>どんな話をされましたか。</p> <p>☆【参加者A】</p> <p>時間どおりに始めなくてもいいとか、全体の流れとかよりも、先生の都合が優先されるとか、そういうことじゃないかと思いました。</p> <p>☆【参加者B】</p> <p>良くあることだなあ、と話していました。委員会のこと等色々あるし・・・。</p>
--	---

**スライド15**

これを続けると・・・

- ・時間通りに始めなくてよい。
- ・時間は守らなくてよい。
- ・自分の都合で、互前に全体の予定を変えてよい。
- ・全体の流れより、個人の都合の方が優先される。
- ・1時間目の学習は重要ではない。

**スライド16**

意識せずに教えている

子供は何かを感じている

教師は無意識

これらの事例は、「教師は無意識に教えている」ということがあるということです。

教師は、「時間を守らなくてもいい」、「子どもたちに時間の重要性なんか教えずにいいんだ。」とか思っているわけではなく、先生は無意識なだけです。全くそういうところに意識をしていないで行動しているわけです。しかし、子どもたちは何かを感じているということです。

これも、「隠れたカリキュラム」の一つです。

**スライド17**

深層

みなさんの手帳にある「隠れたカリキュラム」を一人3個以上書いてください。改善案も書きましょう。

(朝)

教師の教壇の字が汚い

↓

子供の字が汚くなる原因に書いても話される

★【講師】

それでは演習に入ります。これから教室にあるのではないかとと思われる「隠れたカリキュラム」について、みんなで考えていきます。

これまでの話で「隠れたカリキュラム」のイメージはできてきたでしょうか。

これももしかしたら「隠れたカリキュラム」ではないかなと思うことを、一人3つ以上探します。付箋1枚につき1つお書きください。また、可能であれば「改善案」も併せてお書きください。時間は3分間です。思い付かなかったら、隣の人ののを見せてもらってもいいですよ。

(3分経過)

**スライド18**

ワールドカフェで深めましょう

- 自分のグループ以外のグループに書いて「隠れたカリキュラム」を交換し、共有する。
- グループローテーションは、人は必ず自分のグループに戻り、付箋に書いてくれたカリキュラムの書き手と話し、意見を交換する。
- 時間になったら他のグループに行き、同様のセッションを行います。
- 次のグループに渡す。他のグループでは、どのグループが書いたか分からず、それはどのグループが書いたか推測する。
- 全体でシェアします。(各グループの代表者が意見を発表)

★【講師】

それでは「ワールド・カフェ」というグループワークをします。グループ作りをしてから方法についてお話します。

(グループ作り)

「ワールド・カフェ」について説明します。

まず、マジック1セット、模造紙1枚をそれぞれ、机の上の中央に用意します。次に、先程書いた付箋を出しながら「私、休み時間の過ごし方で、こういう場面で隠れたカリキュラムがあると思うんだよね。」というように話してください。ただ付箋に書いたことを読み上げるだけではなく、付箋に書いたことに付随するエピソードを付け加えながら話すのがポイントです。付箋は模造紙に貼りながら話します。

そうすると、似たような例が出てくるかもしれません。「あつ、それ私も同じ。」「これも同じかな。」というように会話しながら、似たもの同士の付箋を固めて貼ってください。その事例についてある程度話したら、また同じように、次の事例について話してください。固めて貼るというグループ分けが目的ではなく、そこに付随するエピソードを共有することが目的ですので、会話しながら進めていくことがかなり重要です。

その後、グループ交流をします。まず、グループ内で残る人1人と旅に出る人に分かれます。旅に出る人の役割について話します。旅に出る人は、色々なグループへ行き情報を仕入れてきます。

例えば、このグループの人が隣のグループに行きます。そこでどんな事が話し合われたのか、残っている人から付箋に書かれている内容について教えてもらいます。

次に、残る人についてです。残るのは、グループで1人だけです。誕生日が1月から数えて一番早い人が残ります。グループに残ったら他のグループから来た旅人にどんな情報提供することが役割です。自分のグループでどんな話し合いが行われたのか旅

スライド18のつづき

ワールドカフェで深めましょう

- ・OJのグループと他グループの仲間と書いて隠れたカリキュラムを交流します。
- ・グループの一人が残り、OJはそれぞれ他グループへ1分1分、授業に書いた隠れたカリキュラムの書き出しを渡し、質問の書き出しを行います。(5～10分)
- ・時間になったら他のグループに行き、質問の書き出しを行います。
- ・各グループに書いて、他のグループでは、どのように隠れたカリキュラムが書かれたか、それはどのような書き出しがあるか書かれます。
- ・全体でシェアします。(各グループの代表者が感想を発表)



人に伝えてください。  
 それでは、最初に7分間グループワーク、その後の7分間は他のグループに行って交流。交流終了後は元のグループに戻って、皆さんが他のグループに旅へ出て、どんな話をしてきたか、仕入れた情報を話してください。このシェアリングが5分間位です。時間設定が短いので、皆さん効率よく、積極的に動いてください。

質問がある方いますか。  
 それでは、早速、模造紙とマジックを机上に用意して始めてください。マジックは1人1本持ち、模造紙に簡単なキーワードを書き込みながら、進めてください。  
 (グループワーク開始)

※グループワークで聞き取れた内容

- ・うちの学校では子どもたちに、体育の授業の始めと終わりはジャージを着用しなさいと指導しているのに、教師がTシャツ・短パンというのはどうなのかなと思った。
- ・チャイムが鳴ると同時に授業が始まらないうち、時間を守らなくてもいいんだと感じ取ってしまう。
- ・期限の切れた掲示物がいつまでも貼ってあって、子どもはやりっ放しで良いと思う。誰かが剥がさだろうと人任せになってしまう。
- ・チャイム席を徹底させるため、自らチャイムの1分前に教室に入るようにしたところ、子どもたちもそれを感じてか、チャイムと同時に授業が始められるようになった(ポジティブな「隠れたカリキュラム」)。
- ・手を挙げた人に発言をさせていると、先生は分かる人だけ答えさせるんだと思う。
- ・自らの机を整理できていない。子どもには「これいらないでしょ。片付けてください。」と言っているのに説得力がない。子どもの片付けるという意識が薄れる。

★【講師】  
 はい、それはグループに1人残して、他の方は、他のグループに行って交流してください。どんな話が出ているか情報を収集してきましょう。  
 付箋を持って行ってメモを取るといいですね。  
 (他のグループで交流中)  
 (残っている人が旅人に自分のグループでの付箋の内容について説明)  
 それでは、自分のグループに戻って、情報収集した内容について

てシェアリングしてください。  
 (シェアリング中)  
 (他のグループでメモした付箋を自分のグループの模造紙に貼る。)

※シェアリングで聞き取れた内容

- ・忘れ物をして職員室まで取りに行くという事例があった。忘れ物をして明日持ってくれば良いという感じになってしまおうと思う。
- ・教師の字が汚い。
- ・教師同士の言葉遣いが悪い。
- ・教師同士の悪口を言う。 など

★【講師】  
 それでは、一度付箋を置いてこちらをご覧ください。どんな話が出たか聞いてみます。  
 ☆【参加者】  
 自分のグループは身だしなみの話とかが出ました。他のグループに行ったときは、髪が生えているという付箋が貼ってありました。  
 ★【講師】  
 ありがとうございます。ちなみに、髪の話は別のグループでも出ていました。髪に対してはどう感じますか。  
 ☆【参加者】  
 . . . . .  
 ★【講師】  
 こちらのグループでも身だしなみの話が出ていて、先生がだらしない格好をしていると、子どもたちに影響があるということでした。

スライド19

まとめ

「隠れたカリキュラム」はどこに？







★【講師】  
 この後は、まとめに入ります。





<p>スライド26</p> <p>学習環境や教育活動のあらゆる場面に存在していることを意識して指導していることが大切です。</p>	<p>★【講師】</p> <p>そう考えながら子どもに接することが、教育の幅を広げることに繋がるのではないのでしょうか。</p>
<p>スライド27</p> <p>ポジティブな「隠れたカリキュラム」はあります</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教師が授業終了時刻を守って終わるので、子どもも時間を意識して行動している。</li> <li>教師があらゆる場面でありがらうは子供に伝えているので、子供同士でも「ありがとう」を伝えている。</li> <li>教師が丁寧な言葉遣いをするので、子供たちも乱暴な言葉遣いを発しない。</li> </ul>	<p>★【講師】</p> <p>これまでは、ネガティブな「隠れたカリキュラム」ばかり探してきましたが、ポジティブな「隠れたカリキュラム」もあります。</p> <p>例えば、「先生が時間をちゃんと意識して守っていたら子どもも時間を意識して行動するようになる。」「教師があらゆる場面で子どもに『ありがとう』と伝えている。」「取ってきてくれて『ありがとう』。」「掃除してくれて『ありがとう』。」「こうしていると、子どもは「ありがとう」と自然に言うようになる。丁寧な言葉遣いをする、子どもたちも乱暴な言葉遣いを発しなくなる。</p>
<p>スライド28</p>  <p>これ、何だかわかりますか？</p>	<p>★【講師】</p> <p>これ何だかわかりますか。</p> <p>☆【参加者】</p> <p>キュウイの皮？</p> <p>★【講師】</p> <p>そうです。これはキュウイの皮です。これは先生が指導して、こうしなさいと言ったわけではなく、自然とこうなるのです。</p>

<p>スライド29</p> 	<p>★【講師】</p> <p>食べ終わったキュウイの皮。食べ終わった物はゴミですよね。でも、目ごろから、物を丁寧に扱う指導をしていたり、あるいは食べ物への感謝の気持ちや作ってくださった方への感謝の気持ちなどを子どもに話していくと自然とこの写真のような行動を取ることができるようになる。</p> <p>これは、ポジティブな「隠れたカリキュラム」の事例の1つです。</p>
<p>スライド30</p> 	<p>★【講師】</p> <p>形を整えることも整う。</p> <p>掲示物がきちっと揃っています。よく見るとファイルもきれいに色分けされています。それから本もラベルが貼ってあるのと貼っていないのが分けられています。</p> <p>このように、教師がきちんと整えると、子どもも自然にきちんと片付けをするようになります。</p>
<p>スライド31</p> 	<p>★【講師】</p> <p>脱ぎ散らかされた誰かのジャージ。気付いた子がそっとたたんでくれています。</p>
<p>スライド32</p> 	<p>★【講師】</p> <p>掃除の場面です。バケツの後ろに1人、流し台の下に入って丁寧に掃除していますね。</p>

スライド33



★【講師】

「徳教は、耳より入らず、目より入る。」つまり子どもは、先生が言っていることを聞いて育つのではなく、やっていることを見て育つということ。これは福沢諭吉の言葉です。

スライド34

リフレクションシートに  
記入しましょう。



※リフレクションシートの様式は24頁に掲載

★【講師】

今日はですね、「隠れたカリキュラムについて」お話をさせていただきました。最後にリフレクションシートに記入して終わりにします。

最初に左上の1番は身の回りによくある「隠れたカリキュラム」の事例ということで、先程付箋に書いていただいたことでも構いません。自分や周りにある「隠れたカリキュラム」を1つ以上書いてください。

次に右上の2番、1番の事例を先生がしたら、子どもが、こういう風に受け取る可能性があるのではないかということを書いてください。例えば、先生が書く字が雑であれば子どもの字も雑になるとか。

次に左下の3番は自分がしようと思うこと。つまり1番の改善策を書いてください。例えば、「字をきれいに書く」とか。

次に右下の4番です。3番で書いたことをすれば、子どもはこう変わるだろう、良くなるだろうということを書いてください。

スライド35

お疲れ様でした。



★【講師】

それでは、時間になりましたので、「隠れたカリキュラム」の講義についてはこれで終了します。

どうもありがとうございました。

# リフレクションシート (教職経験者研究協議会)

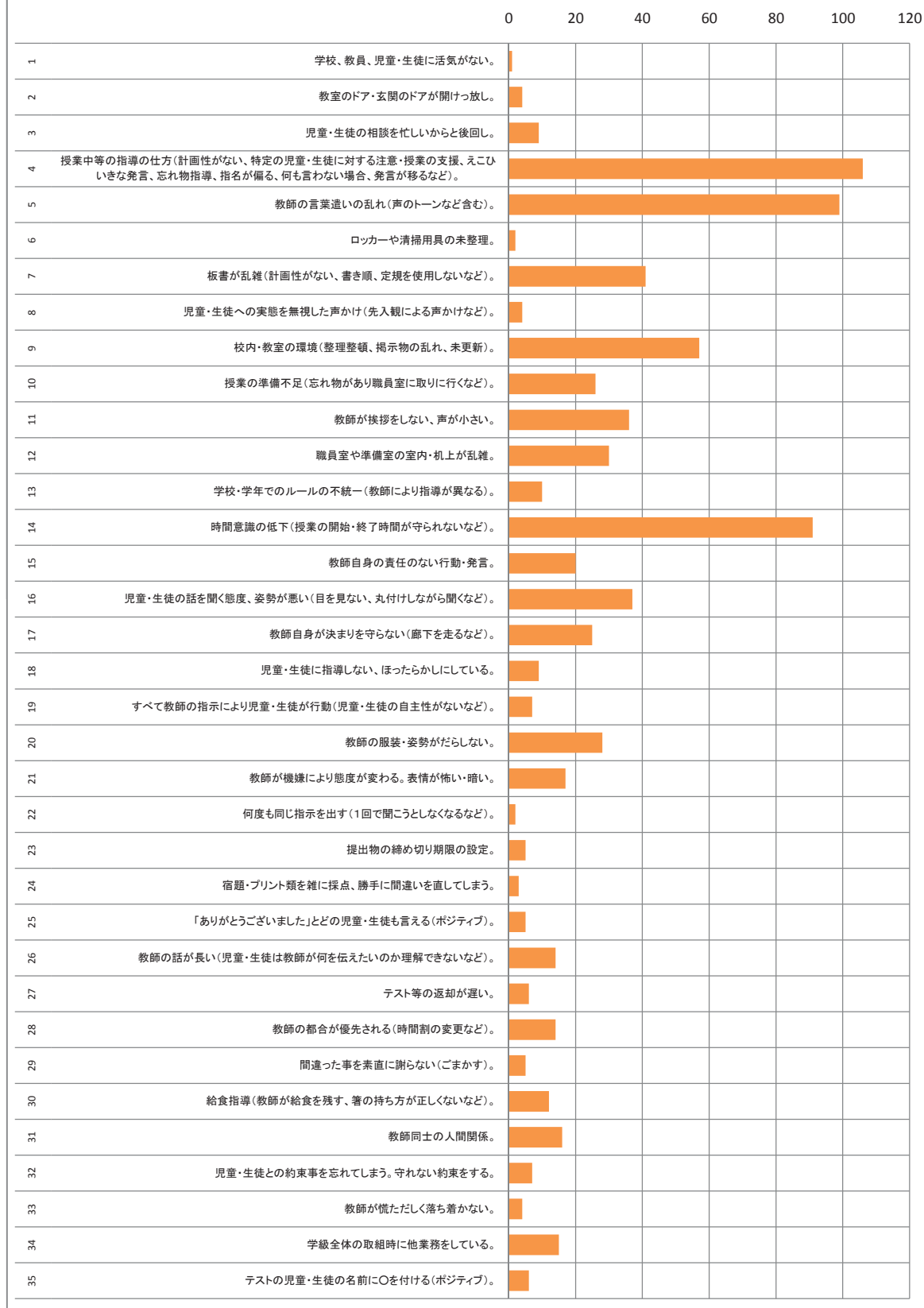
年 月 日( ) 実施局( )

学校名

氏名

1. 身の回りによくある隠れたカリキュラムの事例	2. 子どもに伝わるもの・こと
<ul style="list-style-type: none"> <li>① 授業が時間内に終わらない。</li> <li>② 教師の説明が長い。</li> <li>③ 宿題・家庭学習のチェック・コメント書き等をしながら子どもの話を聞く。</li> <li>④ 乱暴な言葉遣い。</li> <li>⑤ 理解の遅い子に率先して指導する。</li> <li>⑥ 自分が持っている答えに固執してしまい、それを無意識に顔に出している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 子どもが時間を守らなくなる。信頼関係の低下。</li> <li>① 信頼関係が崩れる。</li> <li>② 集中しなくなる。</li> <li>② 説明の仕方がうつる(分かりやすく話すことができない。)</li> <li>③ 「ちゃんと話を聞いてくれているの?」と思ってしまう。</li> <li>③ 人の目、顔を見ないで話をしてもいいという押さえに繋がる。</li> <li>④ 「この先生には、この言葉を使ってもよい」という考えが生まれる。</li> <li>④ 関係が馴れ合いになる。</li> <li>⑤ 先生はあの子ばかりで、自分の所には来ないんだ。</li> <li>⑤ あの子は一人で考えるのが難しいんだ。</li> <li>⑥ 「先生の望む答えとは何か。」を考えるようになってしまうかも。</li> </ul>
<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; transform: rotate(90deg);">違う!</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">こうなるか</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; transform: rotate(-90deg);">違う!</div> </div>	
3. 自分がしようと思うこと	4. 子どもに伝わるもの・こと
<ul style="list-style-type: none"> <li>① 45分で終わられるよう、授業の計画をもう一度見直す。</li> <li>② 発問・指示・説明を短く、言葉を選んで話す。</li> <li>② 他の先生方の授業を参観し、発問・指示・説明に注目。自分と比較。</li> <li>③ 何か作業をしていても、一度手を止めて、きちんと話を聞く。</li> <li>③ 目を見て相づちをうつなどしながら聞く。</li> <li>④ 授業時間だけでなく、それ以外でも教員に相応しい言葉を使う。</li> <li>⑤ 机間巡視+指導は同じルートで短時間にする。</li> <li>⑥ 表情は豊かに、一度うなずいた後、子どもから疑問が出るようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 時間を守るようになる。</li> <li>① 授業が楽しくなる。授業に集中し習熟度が高くなる。</li> <li>② 何をするのか見通しがつくので、スムーズに活動ができる。</li> <li>② 説明の仕方、話し方が上手になる(分かりやすく話すことにつながる。)</li> <li>③ 子どもが「私の話を聞いてくれる」と感じ、何かあった時に頼ってくれる。</li> <li>③ 信頼関係ができる。</li> <li>④ 大人(教師・地域の人)に望ましい言葉遣いができる。</li> <li>⑤ 先生はみんなのことで見てくれている。困ったときは先生に聞こう。</li> <li>⑤ もうすぐ来てくれるぞ。</li> <li>⑤ 自信を持って言えるようになるかも。</li> </ul>
<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; transform: rotate(90deg);">違う!</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">こうなるか</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; transform: rotate(-90deg);">違う!</div> </div>	

## 5年経験者が考えた「隠れたカリキュラム」 (リフレクションシートより)



・回答数773(複数記述あり)

## ◇研修実施上での配慮事項等(オホーツク管内教職経験者研究協議会の例)

### ○使用教材

- ・ パワーポイント
- ・ リフレクションシート
- ・ 模造紙、マジック、付箋紙

### ○研修を実施する上での配慮した点

- ・ 「隠れたカリキュラム」の認知度が低いことが予想されたため、具体的場面を事例として挙げた。自分ごととして捉えやすくする効果があった。
- ・ 事例想起のために、個人思考→ペア思考という流れで行った。考えを深めたり視野を広げたりする効果があったと考える。
- ・ 本講座の流れを最初に提示することで、参加者が見通しをもって活動することができた。
- ・ 穴空きの資料を配布することにより、ある程度の見通しをもって話を聞いたり、活動に取り組んだりすることができた。
- ・ グループワークを取り入れることにより、より多くの事例に触れたり、より広い視野で自分の実践を振り返ったりすることができた。
- ・ リフレクションシートで、これまでの学級内での「隠れたカリキュラム」を省察することで、今後の組織的な改善策を想定することができるようにした。

### ○研修を実施した感想及び気付いた点

- ・ 「隠れたカリキュラム」に対する認知度が低いことがわかり、十分な概念構築が必要であると感じた。
- ・ グループワークやリフレクションシートへの取組方を口頭のみで説明すると時間を要する。提示物とともに説明することで時間短縮が望める。
- ・ 具体的な場面を想起するためには、言葉だけではなく、イラストや写真を提示することが効果的であった。イラストや写真には、文言による説明を補足する働きがあることから、より効果的なものを厳選していくことが望まれる。
- ・ グループワークの時間をより多く確保することが、隠れたカリキュラムの包括的な理解につながると感じた。
- ・ 学びのまとめとして、リフレクションシートに向き合う時間を十分確保すべきであった。

# 研修プログラム③

## 採用前研修

### ～採用前研修～

採用候補者に対し、教壇に立つ前に教員として最低限必要な事項を、インターネットを通して講義をオンデマンド配信により視聴ができる研修を実施。

配信期間中は、自宅や学校のパソコンで、いつでも、どこでも、何度でも視聴ができるもので、その一つとして「隠れたカリキュラム」を配信した。

### 研修プログラム③ 採用前研修（オンデマンド）

【研修方法】 オンデマンドによる講義（インターネットによる映像配信）  
 【配信期間】 平成27年1月13日（火）～  
 【配信機関】 北海道立教育研究所（http://www.doken.hokkaido-c.ed.jp/）  
 【講師】 千歳市立勇舞中学校 教諭 笹森 健司  
 【対象者】 採用候補者（視聴にはパスワードが必要）  
 【所要時間】 約22分  
 【プログラムの概要】

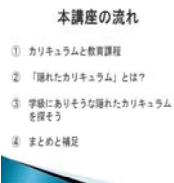
基本構成は、教職経験者研究協議会や初任段階教員研修と変わらないが、対象者が採用前であることから、本講座の内容について、より理解が深まるよう、最初に「教育課程」、「カリキュラム」の説明をした上で、「隠れたカリキュラム」の説明に入る流れとしている。

#### スライド1



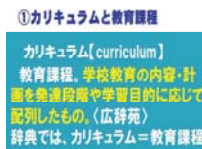
スライドのみ

#### スライド2



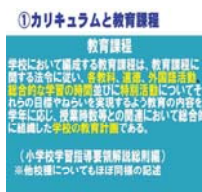
★【講師】  
 それでは、本講座の流れを説明します。本講座は、4つのプログラムから構成されています。  
 1つ目のプログラムは、「カリキュラムと教育課程」の説明です。「隠れたカリキュラム」について学ぶ前に、そもそも「カリキュラム」とは何か「教育課程」とは何かについて整理しておきたいと思います。2つ目のプログラムは、「隠れたカリキュラム」の概念習得です。「隠れたカリキュラム」とはいったいどういうものなのかについて、2つの具体的な事例を通して理解してもらいます。3つ目のプログラムでは、学級にありそうな隠れたカリキュラムの具体例を皆さんに考えていただくとともに、現任教員から出された具体例を提示します。4つ目のプログラムでは、「隠れたカリキュラム」についてのまとめを補足を加えながら行なっていきます。

#### スライド3



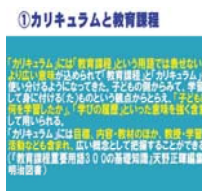
★【講師】  
 では、さっそく1つ目のプログラムに入ります。  
 1つ目のプログラムは、「カリキュラム」と「教育課程」についてです。  
 「隠れたカリキュラム」についてお話しするには、そもそも「カリキュラム」とは何かについて知っておく必要があります。さて、皆さんは「カリキュラム」について、きちんと説明できますか。もしかすると、現任教員でも意外ときちんと答えられないかもしれません。  
 広辞苑によると、「カリキュラム」は、「教育課程」と同じ意味とされており、学校教育の内容・計画を発達段階や学習目的に応じて配列したものと説明されています。しかし、現在、教育現場では「カリキュラム」と「教育課程」を区別して考えるような場面も出てきています。

#### スライド4




★【講師】  
 小学校学習指導要領解説の総則編では「教育課程」について、「学校において編成する教育課程は、教育課程に関する法令に従い、各教科、道徳、外国語活動、総合的な学習の時間並びに特別活動についてそれらの目標や狙いを実現するよう教育の内容を学年に応じ、授業時数等との関連において総合的に組織した学校の教育計画である。」と説明しています。

#### スライド5



★【講師】  
 これに対し、「カリキュラム」は『教育課程重要用語3000の基礎知識』で次のように説明されています。  
 つまり、「カリキュラム」には「教育課程」という用語では表せない、より広い意味が込められていて、それには、子どもたちが、学習して身に付ける（た）ものという観点からとらえ、「子どもは何を学習したか」、「学びの履歴」といったものが含まれているということです。このように、「カリキュラム」には目標、内容・教材のほか、教授・学習活動なども含まれ、広い概念として把握することができます。（『教育課程重要用語3000の基礎知識』大野正博編著）

スライド6



カリキュラム  
教育課程  
「隠れたカリキュラム」  
見えないところで進められている教育課程

★【講師】  
では、ここまでの話を図で表してみたいと思います。  
まずはカリキュラムです。子どもたちが学校生活全体の中で身に付ける、もしくは身に付けたものという広い概念を指すカリキュラムがベースにあり、そして、その中に、目的・狙いを持って総合的に組織された教育課程があるわけです。  
本日お話しする「隠れたカリキュラム」は教育課程に含まれない、図でいう黄色の部分に潜んでいる場合もありますし、場合によっては教育課程の中にも隠れていることがあります。こうしたところに潜んでいて、教師が意図する、しないに関わらず教え続けている、隠れた教育内容を「隠れたカリキュラム」というのです。

スライド7

②「隠れたカリキュラム」とは

「潜在的カリキュラム」ともいいます。

一般的に「教育する側が意図する、しないに関わらず、学校生活を営むなかで、児童・生徒自ら学び取っていく全ての事柄」のことを意味します。


ネガティブなものもポジティブなものもあります。

児童・生徒自ら学び取っていく全ての事柄

★【講師】  
では、2つ目のプログラムに進んで、もう少し「隠れたカリキュラム」を詳しく見ていきましょう。最初に、「隠れたカリキュラム」の概念説明を行います。その後で2つの具体的な事例を通して、「隠れたカリキュラム」とはいったいどういうものなのかをつかんでもらいます。  
それでは、概念説明に入りましょう。「隠れたカリキュラム」とは、「潜在的カリキュラム」ともいいます。一般的に「教育する側が意図する、しないに関わらず、学校生活を営むなかで、児童・生徒自ら学び取っていく全ての事柄」のことを意味します。「隠れたカリキュラム」には、ネガティブなものもポジティブなものも2つありますが、まずはネガティブなものを中心に2つの事例を見ていきましょう。

スライド8

具体的にはどのようなものがあるのか、事例から考えてみましょう。



スライドのみ

スライド9

事例1  
授業中勝手に発言したり、手順を無視して作業を始めたり、何度注意しても言うことを聞かないなど不適切な行動をたびたび取る子を、その都度廊下に呼び出し、授業中に指導している教師。

この教師の対応を、  
○指導を受けている子  
○周囲の子

は、どのように受け取るでしょうか？

★【講師】  
まずは、一つ目の事例です。  
授業中勝手に発言したり、手順を無視して作業を始めたり、何度注意しても言うことを聞かないなど不適切な行動をたびたび取る子を、その都度廊下に呼び出し、授業中に指導している教師。  
この教師の行動を、  
○指導を受けている子  
○周囲の子  
は、それぞれどのように受け取るでしょうか。少し考えてみてください。

スライド10

○指導を受けている子の受け取り

「ぼくって、なんてダメな人間なんだ。どうしてぼくばかり...」  
「先生は目を付けれられていないのかなあ。」



★【講師】  
どうですか？なにか想像できましたか？  
では、最初に、指導を受けている子の受け取りから見ていきましょう。教師は、この子を何とかしなくちゃという思いでその都度指導をしているわけです。その教師の思いが正しく伝わっていい良いのですが、同じことを何度も繰り返すうちに、指導を受けている子が「僕ってなんてダメな人間なんだ。どうして僕ばかり...」。」「先生に目をつけられているのかなあ。」と、感じてしまう可能性も否定できないわけです。

スライド11

○周囲の子の受け取り

「先生、あの子の言い方が悪すぎる。先生は指導する側の人だから、あの子の言い方を聞いても、先生は指導する側の人だから、あの子の言い方を聞いても、先生は指導する側の人だから、あの子の言い方を聞いても...」



★【講師】  
また、この様子を何度も見ている周囲の子は、「また、あの子のせいで授業が遅れる。ダメなやつだ。」「あの子のお陰で授業がつぶれるぞ、ラッキー!。」「誰かが問題を起せば、勉強しなくて済むんだ。」「先生は、あの子にばかりかまってるよなあ。」と、教師の行為を正しく受け止めない可能性もあります。



スライド12



★【講師】  
もし、このようなことを続けていくと学級はどうなってしまうでしょう。少し考えてみてください。

学級の中にはいろいろなタイプの子がいますが、その中で学級を引っ張っていかれるような『前向きでがんばる子』は、「良いことをしていても注目してもらえないんだな。」と感じて、「クラスのことはどうでもいいや、でも勉強はおそろそかにしたくないな、それなら自分のことだけしっかりやろう。」と考えてしまっ、学級のことに対して関心を示さない存在になってしまうかもしれません。

また、多くの子はその場の状況に応じて身の振り方を決めていくバランスタイプの子だと思いますが、そういった様子見の子達は、「悪い子の方が注目してもらえるのかなあ。」と感じて、「だったら悪いことしちゃおうかな、そうしたら先生注目してくれるかな。」と教師の気を引くために、わざと困った行動を取るようになるかもしれません。

さらに、指導を受けている本人は、「ボクは『ダメな子』だ。何度注意されても、結局ダメなことを繰り返してしまう。」と感じて、「どうせ何やってもだめなんだ、好きなことやっちゃえ。」と前向きな気持ちを失い、気持ちが切れてしまうかもしれないのです。

こういう状態になると、前向きな子は学級の状況に関係なく自分のためになることだけをやり、様子見の子たちや指導を受けている子は、意欲や規範意識が大きく低下していきます。その結果、学級全体が落ち着きなく不安定な状況に陥ってしまうのです。教師としては、こうなる前に手を打たなくてはならないわけです。

スライド13



★【講師】  
さて、今紹介した、廊下呼び出し指導する事例では、子どもたちが教師の意図と違う受け取りをしています。教師には、子どもをよくしたいという意図があります。しかし、子どもたちには教師のその意図が正しく伝わっていないわけです。

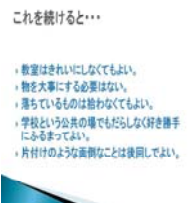
このようなことが起こらないようにするためには、教師は、自分の意図が正しく本人や周囲に伝わっているかということに常に意識し、把握しておく必要があるのです。

スライド14



★【講師】  
では、続いて2つ目の事例を見てみましょう。  
写真をよく見てください。どうですか。この教室の様子から、ここで暮らす子どもたちはどのようなメッセージを日々受け取っている可能性があるでしょう。考えてみましょう。

スライド16



★【講師】  
もしかすると、このような教室で日々暮らしている子どもたちは、

- ・教室はきれいにしなくてもよい。
- ・物を大事にする必要はない。
- ・落ちているものは拾わなくてもよい。
- ・学校という公共の場でもだらしなく好き勝手にふるまってもよい。
- ・片付けのような面倒なことは後回しでよい。

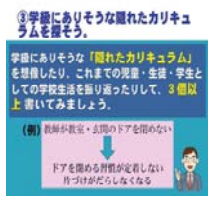
そんなことを学んでいるかもしれませんね。

スライド16



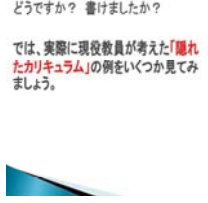
★【講師】  
この事例では、教師に何かをしようという意図はありません。意図的に教室を乱雑にしようと思っているわけではないのです。しかし、そうした教師の無意識の行動でも子どもたちに何かを伝えているということがあつてはいます。ですから、教師は自分の無意識の行動にも意識を向けていく必要があるのです。

スライド17



★【講師】  
それでは、3つ目のプログラムに進みましょう。3つ目のプログラムは、学級にありそうな「隠れたカリキュラム」を探そうです。これまでの話を振り返って参考にしたり、みなさん自身が児童・生徒・学生としてこれまでの学校生活の中で体験したことを感じていたことを思い出したりして、学級にありそうな「隠れたカリキュラム」を3つ以上書いてみてください。書き方は、最初に、「教師が教室・玄関のドアを閉めない」のように、教師の行いを書き、次に、ドアを閉める習慣が定着しない・片づけがだらしないといった、子どもの受け取りや変容を書いていきましょう。それでは、本映像の再生を一時止めて、考えてください。時間の目安は5分とします。

スライド18



★【講師】  
どうですか。思いつきましたか。それでは、ここで現場の教師が考えた「隠れたカリキュラム」の例を2つご紹介しましょう。

スライド19



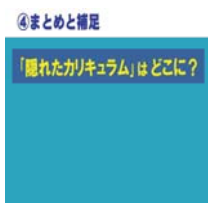
★【講師】  
まずはひとつめ、学校・学年でのルールの不統一の例です。帰りの会が早く終わっても、帰りの会終了時刻が来るまでは、子どもを教室から出さない約束になっている学校があったとします。そんな学校で、ある教師がたびたび、その約束を守らなかつたとしたらどうなるでしょう。最初は、「あれ？ 決まった時刻になるまで教室から出ない約束じゃなかったっけ？」と疑問に思う程度だった子どもたちも、繰り返す中でやがて「先生の気持ち次第で、決まりは変えてもいい」ということを学び、最終的には、自分たちのわがままを通すために、教師に様々な要求を突き付けるようになっていくかもしれません。これは、その学級だけの問題に収まらず、ほかの学級にも影響を与えます。隣の学級は時間前に教室から出ているのに、うちの

スライド20



★【講師】  
2つ目の例は、挨拶をしない、声が小さい教師の例です。通常子どもたちには、元氣よく挨拶をしましょうと指導をしますが、でも、当の教師が生徒から挨拶されたときに、挨拶を返さなかつたり、声が小さかつたりしたらどうでしょう。生徒に言っていることと自分がやっていることに矛盾が生じますから、子どもたちは挨拶なんて適当でいいと考えるようになるかもしれませんし、言っていることとやっていることが違う、このような教師に対して不信任を募らせるかもしれません。ということはもちろん、教師も子どもたちと同じように元氣よく挨拶することが良いということです

スライド21



★【講師】  
さて、ここまで、現役教員が考えた「隠れたカリキュラム」の例を2つご紹介してきましたが、最後にあと2つ代表的な「隠れたカリキュラム」の事例を紹介いたします。そして、教師の行いのどんなところに「隠れたカリキュラム」が隠されているのかまとめてみましょう。

スライド22



★【講師】  
1つ目は、教師の表情です。いつもしかめっ面で、笑顔を見せない教師と過ごす子どもたちは、どんなことを感じるでしょう。「機嫌が悪い時は、顔に出ているいいんだ。」「先生はいつもつまらなそうな顔してる。私たちのこと、嫌いなの。」「学校がつまらないのかな。働きのがつまらないのかな。」「先生は疲れているのかな。」そんな風を感じているかもしれません。教師の喜怒哀楽の表し方も子どもたちにとっては大事なメッセージになっているのです。

学級はどうしてだめなの？ということになるからです。統一されたルールは、しっかり守ることが大切なのです。

スライド23

例2

教師の服装



★【講師】

2つ目は、教師の服装です。  
教師が毎日、図のようなラフな格好で子どもの前に立っていると、そこから子どもはどのようなことを学ぶでしょう。もしかすると「なんだか遊びに行くみたい。服装なんてきちんとしなくてもいいんだな。」なんて思う子どもがいるかもしれません。  
体育のある日、参観日、運動会、学芸会、TPOに合わせた服装を教師がすることで、子どもたちにも服装に対する意識が育つといえるのです。

スライド24

「隠れたカリキュラム」はどこに？

- ・言葉遣い 口癖 教室の動線 教師の服装・表情
- ・教室環境 掲示や指示 ノート指導
- ・目線の受け方 時間設定 声のトーン
- ・立ち位置 応答 イントネーション
- ・話術 机間指導のコース 発言の取り上げ方
- ・規律や指導方法やスタンス

★【講師】

さて、ここまでいくつかの例を通して、「隠れたカリキュラム」がどこにあるかを見てきました。このほかに、(最初の事例で紹介した)教室環境や発問指示、ノート指導、目線の受け方、時間設定、声のトーン、立ち位置、応答、イントネーション、語尾、机間指導のコース、発言の取り上げ方、規律や指導方法やスタンスなどなど、いろいろなところに「隠れたカリキュラム」は潜んでいます。

スライド25

学習環境や教育活動のあらゆる場面に存在していることを意識して指導していくことが大切です。

★【講師】

ですから、教師は学習環境や教育活動のあらゆる場面に「隠れたカリキュラム」が存在していることを意識し、指導していくことが大切なのです。

スライド26

ポジティブな「隠れたカリキュラム」もあります

- ・(例) 教師が授業終了時刻を守って終わるので、子どもたちも時間を意識して行動している。
- ・教師があらゆる場面で「ありがとう」を子どもに伝えているので、子どもたちも「ありがとう」を伝え合っている。
- ・教師が丁寧な言葉遣いをするので、子どもたちも乱暴な言葉を発しない。

★【講師】

さて、ここまでみてきた「隠れたカリキュラム」は、子どもたちにとってマイナスに作用する「隠れたカリキュラム」でした。これをネガティブな「隠れたカリキュラム」だとすると、「隠れたカリキュラム」にはもう一つ、ポジティブな「隠れたカリキュラム」というものもあります。  
例えば、教師が授業終了時刻を守って終わるので、子どもたちも時間を意識して行動している。教師があらゆる場面で「ありがとう」と子どもに伝えているので、子ども同士でも「ありがとう」を伝え合っている。教師が丁寧な言葉遣いをするので、子どもたちも乱暴な言葉を発しない。といったものです。

スライド27

形を整えることも整う。



★【講師】

きちんと整理された教室の本棚や整然と貼られている掲示板的ポスター。

スライド28



揃っている、整っているから、子供は「整えよう」とする。

★【講師】

気持ちよく並べられた掃除用具。

スライド29



★【講師】

見事に整った個人ロッカー。

こういった環境の中で育つ子どもたちは、ただ単に整理整頓が上手になるというだけではなく、穏やかに落ち着いた学校生活を送ることでしょう。

ネガティブな隠れたカリキュラムを一つでも多く意識化して改善することができれば、子どもたちにとって大きなプラスになることは間違いありません。

だからこそ、私たち教師は、日々自らの実践を振り返り、研鑽に励む必要があるのです。

スライド30



スライドのみ

◇研修実施上での配慮事項等(採用前研修の例)

○使用教材

- ・ オンデマンドビデオ教材
- ・ 記録用紙（ノート・メモ用紙等）・・・各自

○研修を実施する上での配慮した点

- ・ 採用前であることに配慮し、「隠れたカリキュラム」の説明の前に、カリキュラムと教育課程について解説した。
- ・ 「隠れたカリキュラム」の概念構築が不十分であることを想定し、学級で起こりうるわかりやすい具体例を複数取り上げ、概念を構築しやすいようにした。
- ・ 単なる教材の視聴に終わることがないように、途中でビデオを止めて「隠れたカリキュラム」の具体例を一人ひとりが考える、個人作業の時間をとった。

# 研修プログラム④

## 10年経験者研修

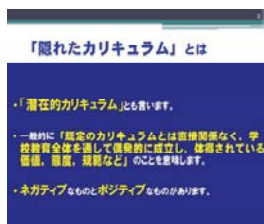
## 研修プログラム④ 10年経験者研修

【日時】 平成26年7月31日(木) 9:15~10:30  
 【会場】 岩見沢市(空知合同庁舎)  
 【講師】 北海道教育庁学校教育局義務教育課教職員研修グループ 主幹 松田賢治  
 【参加者】 35名  
 【所要時間】 75分  
 【本プログラムの概要】  
 ・児童・生徒に対する同一歩調での指導が重要など、学年全体や学校全体を意識した内容としている。

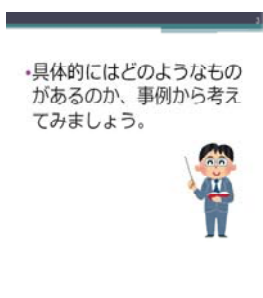
スライド1



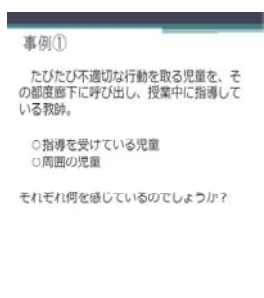
スライド2



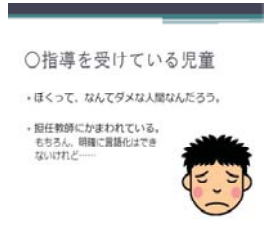
スライド3



スライド4



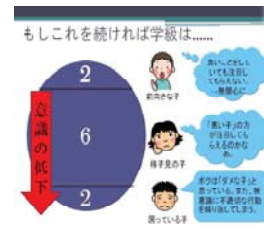
スライド5



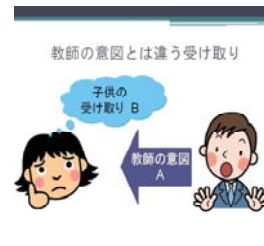
スライド6



スライド7



スライド8



スライド9



スライド10



スライド11

これを続けると……

- ・「先生方って、バラバラなんだ…」
- ・「『学校全体で読書する時間だ』って先生は言っていたけれど……」
- ・学校のきまりって、その時の都合で変更してもいいんだ。

スライド12

事例④ 子供はどのようなメッセージを受け取っているのでしょうか？ どうしなければならぬのでしょうか？

教師「そのキーホルダーをはずしてきなさい」  
子供「2組の子はつけてます」



スライド13

これを続けると……

- ・真面目にしていると損をする。
- ・規則を守ることは意味のないこと。
- ・価値は、その都度変わるもの。
- ・周りの教室と比べてものを言えば、先生は弱い。

スライド14

意識せずに教えている

子供は何かを感じている  
教師は無意識



スライド15

さらに言えること……

学年全体  
学校全体  
中学校区全体

→ 同一歩調での指導が大切




スライド16

演習

皆さんの学校にあるネガティブな「隠れたカリキュラム」を一人3個以上書いてください。改善案も書きましょう。


(例) 教師の板書の字が汚い  
↓  
子どもの字が汚くなる  
扉に書いても許される



スライド17

ワールドカフェで深めましょう


- ・ピンツの付箋に書いて「隠れたカリキュラム」をグループで共有します。(保護者も参加して、カテゴリー分けしてください)
- ・グループの一人が残り、他のグループに回って行きます。付箋に書いて隠れたカリキュラムの標子を見せ、対話をします。方法はグループに残っている方が行きます。(5～10分)
- ・時間になったら他のグループに行き、同様のセッションを行います。
- ・元のグループに戻り、他のグループではどのような「隠れたカリキュラム」があり、それはどのような影響があるのかを分かち合います。
- ・全体でシェアします。(いくつかのグループが感想を発表)



スライド18

まとめ


「隠れたカリキュラム」はどこに？



スライド19

「隠れたカリキュラム」はどこに？

- ・言葉遣い ・教室環境 ・発問や指示
- ・ノート指導 ・表情
- ・目線の向け方 ・声のトーン ・立ち位置
- ・発言への応答 ・イントネーション ・語尾
- ・机間指導のコース
- ・発言の取り上げ方 (不規則発言を取り上げてしまう)



スライド20

「隠れたカリキュラム」は ほんなところにも

- ・規律の指導方法やスタンス
- ・学年の教師たちの指導的統一感
- ・来校されたお客様(地域の方々・業者の方)への教師の振る舞い
- ・行事への取り組み方(教科等の時間を振り回すなど)


学習環境や教育活動のあらゆる場面に存在していることを意識して指導することが大切です。

スライド21

ポジティブな「隠れたカリキュラム」もあります。

(例)

- ・6年生が積極的にあいさつをするので、下の学年も真似をしている。
- ・高学年がルールを守って登下校しているのので、低学年も交通ルールを守っている。



スライド22



形を整えると心も整う



スライド23



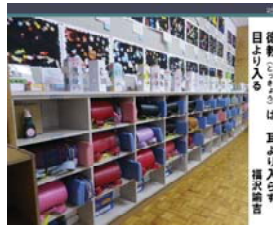
揃っている、整っているから、子供は「整えよう」とする。

スライド24



・高学年もよい活動で学習したり、行事に参加したりしているため、低学年もまわをみる。

スライド25



目より入る、耳より入らず、指沢論者

スライド26

リフレクション  
(will-can-mustで振り返りましょう)  
 [MUST] 今はなくてはならないと考えられるもの、課題意識や地域からの要請。  
 [CAN] そのうち自分が、すぐにできること。  
 [WILL] 自分の目標や、やりたいこと、なりたい姿。  
 これらを振り返りシートに記入しましょう。

スライド27

お疲れ様でした。

【写真①】  
導入当初「隠れたカリキュラム」という言葉を初めて聞いた人（筆手6割程度）



【写真③】  
グループ交流、「隠れたカリキュラム」のカテゴリー分け



【写真⑤】  
他グループに移動



【写真②】  
基本講義  
「隠れたカリキュラム」の事例による説明



【写真④】  
グループ交流、「隠れたカリキュラム」のカテゴリー分け



【写真⑥】  
他グループがどんな「隠れたカリキュラム」の事例を出しているか情報収集しながら交流



# 隠れたカリキュラム リフレクションシート

## (平成26年度 10年経験者研修)

期 日:平成26年 月 日( ) ※実施局( )

所属名: ○○○小学校

氏 名: □□ △△

★10年経験者から見る隠れたカリキュラムの事例を一つ(今日の話の中や自分の学校で)、現状や課題を含め書きましょう。

**1 時間をルーズに扱う教師が多く、生徒も期日や時間に対しての意識が低くなっている。**

**2 服装が乱れている(シャツの裾、スカート丈、Tシャツ)生徒がいる。注意しても直らなかったこともあるが、注意しないこともあり、改善できない。先生によって生徒の反応が違う。**



★MUST～この現状をどうするべきか(あるべき姿)

**1 教師自身が時間に厳しく行動し、その上で同一歩調の指導をして、子どもたちの意識を高めたい。**

**2 同じ目線で誰からも注意し、改善する意識を高めたい。**



★CAN～今、自分ができることは

**1 始業前に教室に入り、チャイムで終える授業を繰り返す。**

**2 学年・学級に関係なく、見かけたら声をかけること。**



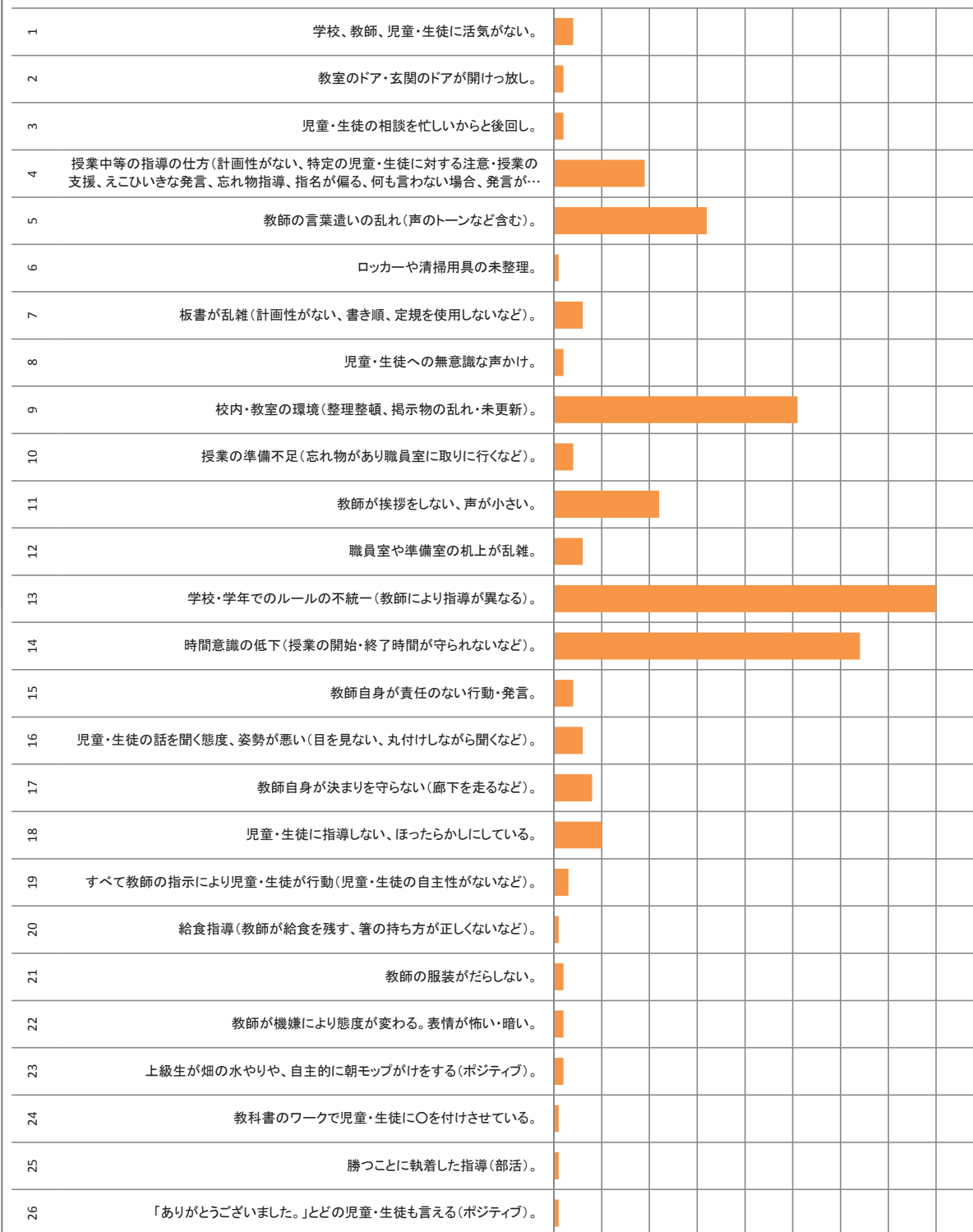
★WILL～私が、「しよう!」と思うことは

**1 学年部会で提案し、統一した動きの取れる学年集団の形成。**

**2 指導のラインを確認するために、生徒指導部会で議題にすること。  
指導にバラツキがあることでの生徒への影響を考慮して、方針を話し合うこと。**

## 10年経験者が考えた「隠れたカリキュラム」 (リフレクションシートより)

0 10 20 30 40 50 60 70 80 90



- ・回答数336(複数記述あり)
- ・一部リフレクションシート未実施の教育局あり。

#### ◇研修実施上での配慮事項等(空知管内10年経験者研修の例)

##### ○使用教材

- ・パワーポイント
- ・模造紙、水性ペン、付箋紙
- ・リフレクションシート

##### ○研修を実施する上での配慮した点

- ・導入の場面で、「隠れたカリキュラム」の概念形成が図られるよう、学校現場で身近な事例を取り上げ、共通理解が図られるようにした。
- ・グループ協議を効率的に進めることができるよう、講座の初めから、4人1グループで座席を設定した。
- ・参加対象が10年経験者であることから、事例は学級のものに絞り込んでレクチャーを行った。
- ・グループ協議のワークショップでは、ワールドカフェ形態を取り入れ、グループの話し合いのあとに、1名のホストが残り、その他は他のグループにでかけていく方法を3フェーズ行い、多様な交流ができるようにした。
- ・ワールドカフェの終盤で、全体で感想の発表をし、シェアリングの場面を設定した。
- ・リフレクションシートで、学級における「隠れたカリキュラム」を省察し、改善策を考えることができるようにした。

##### ○研修を実施した感想及び気付いた点

- ・「隠れたカリキュラム」に対する認知度が極端に低く、概念構築に時間を要したが、必要性を実感してもらうことができた。
- ・ネガティブな「隠れたカリキュラム」の身近な事例を取り上げる際には、自己の学級経営の反省に終始し、批判的な考え方に陥ってしまう面が見られたが、後半では「隠れたカリキュラム」が子どもに与える影響に目を向け、改善策が具体的に協議される様子が見られた。
- ・交流方法にワールドカフェ形態を取り入れたことで、他者との違い、多様な広がりについて積極的に協議が行われた。
- ・リフレクションシート(will-can-must)では、想定した記入内容の期待度が高すぎたため、参加対象者の振り返りとしては難しかった。

# 研修プログラム⑤

## 初任段階教員研修

研修プログラム⑤ 初任段階教員研修

【日時】 平成26年12月25日(木) 9:30~10:30  
 【会場】 釧路市(釧路市教育センター)  
 【講師】 志庭市立恵み野旭小学校 教諭 近藤 真司  
 【参加者】 46名  
 【所要時間】 60分

【プログラムの概要】  
 ・基本的には、教職経験者研究協議会と同じ内容であり、児童・生徒への影響として、授業中での指導や学級活動を意識した内容であるが、初任者のため「隠れたカリキュラム」の説明又は演習の際の付箋の使用方法、リフレクションシートの記載方法など、スライドにより丁寧に説明を行った。

スライド1



スライド2

本講座の流れ

- ①「隠れたカリキュラム」とは？
- ②学級にありそうな隠れたカリキュラムを探そう。  
～グループワーク(ワールドカフェ)を通して学ぶ～
- ③まとめと補足  
～リフレクションシートに今日の学びを記入～

スライド3

カリキュラムと教育課程

カリキュラム＝教育課程

学校において編成する教育課程は、教育課程に関する法令に準じ、各教科、道徳、外国語活動、総合的な学習の時間並びに特別活動についてこれらの目標やねらいを実現するよう教育の内容を学年に応じ、授業時数などの関連において総合的に組織した学校の教育計画である。

(小学校学習指導要領解説総則編)  
 ※他校種についてもほぼ同様の記述

スライド4

具体的にはどのようなものがあるのか、事例から考えてみましょう。



スライド5

事例1  
 たびたび不適切な行動を取る子を、その態度態下に呼び出し、授業中に廊下で指導している教師。

この教師の行動を、

指導を受けている子  
 周囲の子

は、どのように受け取るでしょうか？

スライド6

事例1  
 たびたび不適切な行動を取る子を、その態度態下に呼び出し、授業中に廊下で指導している教師。

この教師の行動を、

指導を受けている子  
 周囲の子

は、どのように受け取るでしょうか？

スライド7



スライド8



スライド9



スライド10

事例2  
 授業中、いつも同じ子ばかりを個別指導する教師。

A君できるかな。そばでしっかり教えてあげなさい。

「どのようなメッセージを受け取っている可能性が考えよう。」

スライド11

周囲の子は・・・

- ・A君は勉強ができないから、いつも先生が教えに行くんだ。
- ・A君はやっぱりいいなあ。ずるいなあ。
- ・A君以外の人はどうでもいいみたい。

スライド12

教師の意図とは違う受け取り

子供の受け取り B

教師の意図 A

スライド17

意識せずに教えている・伝わっている

子供は何かを感じている

教師は無意識

スライド18

③ 学級にありそうな隠れたカリキュラムを探そう。

学級にありそうな「隠れたカリキュラム」を整理し、一人3個以上書いてみましょう。

(例) 教師が教室・玄関のドアを閉めない  
↓  
ドアを閉める習慣が定着しない  
片づけがだらしくなる

スライド13

事例3

・どのようなメッセージを受け取っている可能性がありますか？

スライド14

これを続けると・・・

- ・教室はきれいにならなくてもよい。
- ・物を大事にする必要はない。
- ・落ちているものは拾わなくてもよい。
- ・学校という公共の場でもだらしなく好き勝手にふるまってもよい。
- ・片付けのような面倒なことは後回しでよい。

スライド19

付箋の使い方

- ・付箋一枚につき一事例(3個なので3枚以上)
- ・なるべく大きく書きましょう。
- ・上段に身の回りにありそうな隠れたカリキュラムを書く。
- ・下段にそれによって子どもに伝わるものを書く。

教師が教室・玄関のドアを閉めない  
↓  
ドアを閉める習慣が定着しない  
片づけがだらしくなる

スライド20

ワールドカフェで深めましょう

- ① それぞれのグループで、各自付箋に書いた「隠れたカリキュラム」をマゼンダ色付加しながら横並びに貼って、交流します。
- ② グループ1一人が話し、それ以外の人はメモ用紙を持って、それぞれのテーブルに行き、他のグループがどのような文章を貼ったのか聞いて、質問しながら情報収集をする場に出ます。残った一人の人は、ホストとなり、集まって来た人に情報提供します。
- ③ 時間になったら、本人は、自分のテーブルに戻り、他のグループがどんな話し合いをしていたかをシェアします。また、ホストは、どの程度質問されたかを話します。
- ④ 全体でシェアします。(各グループの代表者が発表)

スライド15

事例4

自転車の乗り方についてだが...

1時間目開始時刻が過ぎても、朝の会が続いている。

・どのようなメッセージを受け取っている可能性がありますか？

スライド16

これを続けると・・・

- ・時間通りに始めなくてよい。
- ・時間は守らなくてもよい。
- ・教師の都合で、気軽に全体の予定を変えてよい。
- ・全体の流れより、教師の都合の方が優先される。
- ・1時間目の学習は重要ではない。

スライド21

④ まとめと補足

「隠れたカリキュラム」はどこに？

スライド22

例1

教師の言葉遣い

みんなの前で、私語な言い方をしているんだ。

あの先生には、気遣ひたいに話してないんだ。

おい、お前ら、早く教科書開けよ。

自転車の乗り方、教をづけよう。地域から苦情来たからなんだ。

ロちゃん、昨日の子じど気なよ。

スライド2.3

例 2

教師の口癖



スライド2.4

例 3

教師の机



スライド2.5

例 4

教師の服装



スライド2.6

例 5

教師の表情



スライド2.7

「隠れたカリキュラム」はどこに？

- ・言葉遣い 口癖 教室の机、教師の服装・表情
- ・教室環境 発問や指示 ノート指導
- ・目標の掲げ方 時間設定 声のトーン
- ・立ち位置 応答 イントネーション
- ・語尾 机間指導のコース 発言の取り上げ方
- ・規律や指導方法やスタンス

スライド2.8

学習環境や教育活動のあらゆる場面に存在していることを意識して指導していくことが大切です。

スライド2.9

ポジティブな「隠れたカリキュラム」もあります

- ・(例)
- ・教師が授業終了時刻を守って終わるので、子供たちも時間を意識して行動している。
- ・教師があらゆる場面で「ありがとう」と子供に伝えているので、子供同士でも「ありがとう」を伝えている。
- ・教師が丁寧な言葉遣いをするので、子供たちも乱暴な言葉を使わない。

スライド3.0

形を整えようと心も整う。



スライド3.1



スライド3.2



スライド3.3

リフレクション

今日の学びを個人で振り返りましょう。  
リフレクションシートに記入しましょう。

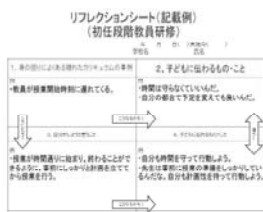
スライド3.4

リフレクションシート(記載例)  
(初任段階教員研修)





スライド3.5



スライド3.6



【写真①】

途中で机を並び変える時間を省略するため、対面式での机配置で講義開始。



【写真②】

アイスブレイク。  
初任者なので、まずは緊張のほぐしから。



【写真③】

付箋に事例を記入。



【写真④】

演習(グループワーク)。



# リフレクションシート (初任段階教員研修)

年 月 日( ) 実施局( )

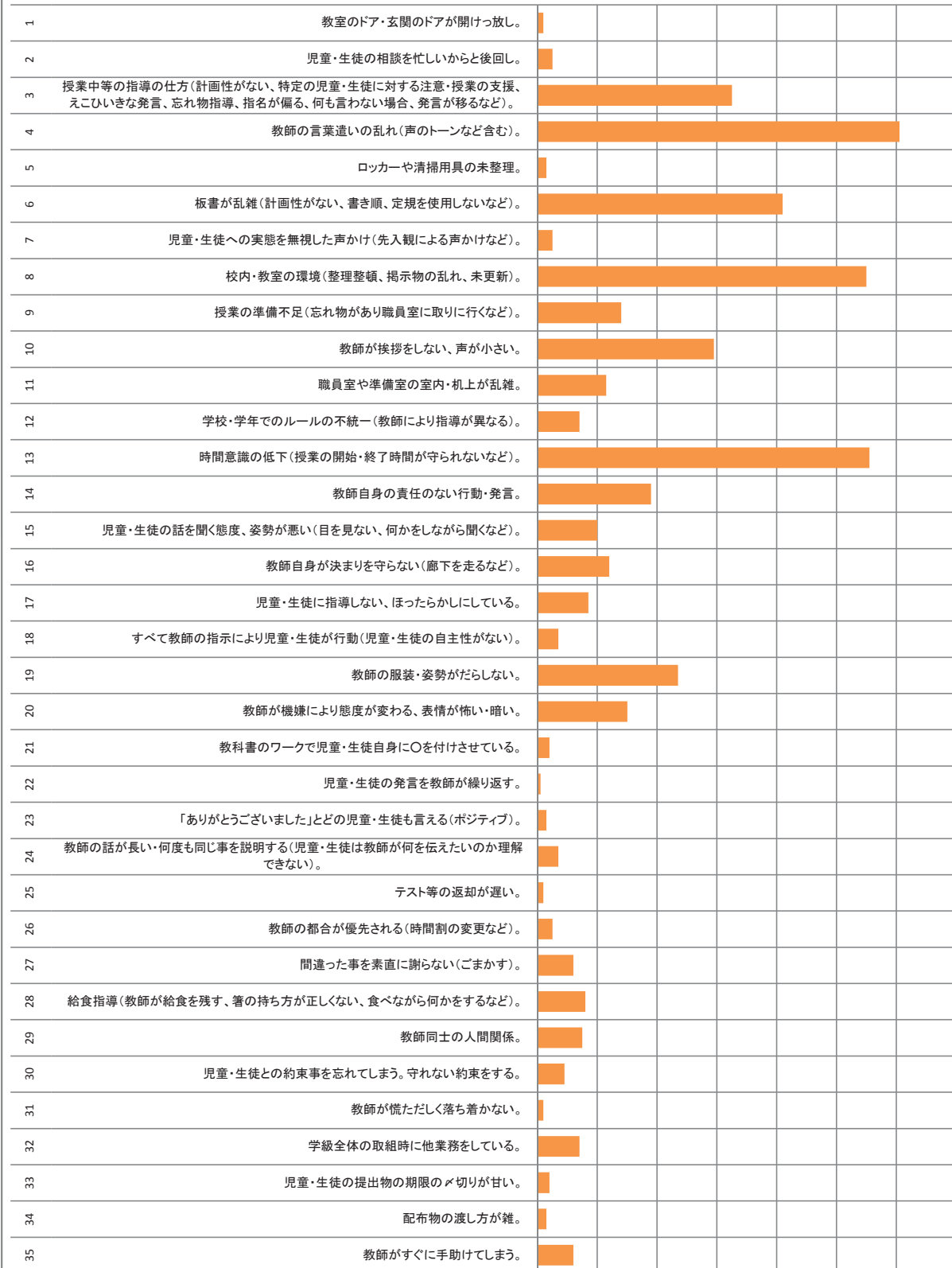
学校名

氏名

1. 身の回りによくある隠れたカリキュラムの事例	2. 子どもに伝わるもの・こと
<p>① 授業開始時間が遅れる(終了時間が遅れる)。</p> <p>② 職員室の机上が汚い。</p> <p>③ 板書が乱雑</p> <p>④ 給食で嫌いな物を残す。</p> <p>⑤ 約束を忘れる。</p> <p>⑥ 間違っことを謝らない。言い訳をする。</p>	<p>① 少しぐらいなら遅れてもいいんだ。</p> <p>① 時間は守らなくてもいいんだ。</p> <p>② だらしなくてもいいんだ。</p> <p>② 整理はしなくてもいいんだ。</p> <p>③ 線を引くとき定規を使わなくてもいいんだ。きれいに書かなくてもいいんだ。</p> <p>③ 書き順は適当でもいいんだ。</p> <p>④ 嫌いな物は残してもいいんだ。</p> <p>⑤ 先生は〇〇の件はどうだっていいと思っているんだ。</p> <p>⑤ あの先生は信頼できない。約束は守らなくてもいいんだ。</p> <p>⑥ 自分が悪くても、言い逃れをしてもいいんだ。 謝らなくてもいいんだ。</p>
<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; transform: rotate(90deg);">違う!</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">こうなる</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; transform: rotate(-90deg);">違う!</div> </div>	
3. 自分がしようと思うこと	4. 子どもに伝わるもの・こと
<p>① 決められた時間は守る。</p> <p>② 職員室の机上はきれいにする。</p> <p>③ 丁寧に書くようにする。</p> <p>④ 好嫌いをせず食べる。</p> <p>⑤ 約束したことは必ず守る。</p> <p>⑥ 悪いことは、すぐに認め、謝ったり直すことを表明する。</p>	<p>① 先生のように時間内で終わるようメリハリをつけよう。</p> <p>① 計画的に行動しよう。</p> <p>② 教室や自分の身の周りもきれいにしよう。</p> <p>② 物は大事にしよう。</p> <p>③ 先生を見習って丁寧に書くように心がけよう。</p> <p>③ 見やすいから、授業も楽しいなあ。字がきれいだと気持ちいいなあ。</p> <p>④ 嫌いな物でも頑張って食べよう。</p> <p>⑤ ちゃんと考えてくれていたんだ。先生は信頼できるなあ。</p> <p>⑤ 約束したことは、必ず守ろう。</p> <p>⑥ 誰に対しても、悪いと思ったら謝らないといけないんだ。</p> <p>⑥ 大人も悪い所は素直に直そうとしているんだ。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">こうなる</div>	

# 初任者が考えた「隠れたカリキュラム」 (リフレクションシートより)

0 20 40 60 80 100 120 140



・回答数920(複数記述あり)

## ◇研修実施上での配慮事項等(釧路管内初任段階教員研修の例)

### ○使用教材

- ・パワーポイント
- ・模造紙、付箋、水性ペン、マジック
- ・リフレクションシート

### ○研修を実施する上での配慮した点

- ・アイスブレイクを入れることで参加者が、話しやすい雰囲気になるよう配慮した。
- ・初任段階教員研修なので、「隠れたカリキュラム」の概念の説明を丁寧に行った。
- ・具体的な事例を取り上げ、共通理解が図られるようにした。
- ・講義の途中に、隣同士でのペアやグループでの話し合いの機会を設定し、参加者が主体的に考えられるようにした。
- ・付箋への記入やワールドカフェを取り入れる際は、参加者が主体的に演習に取り組めるよう、趣旨や方法をパワーポイントで丁寧に説明をした。
- ・リフレクションシートの記入の仕方も、パワーポイントを使用し、丁寧に説明をした。

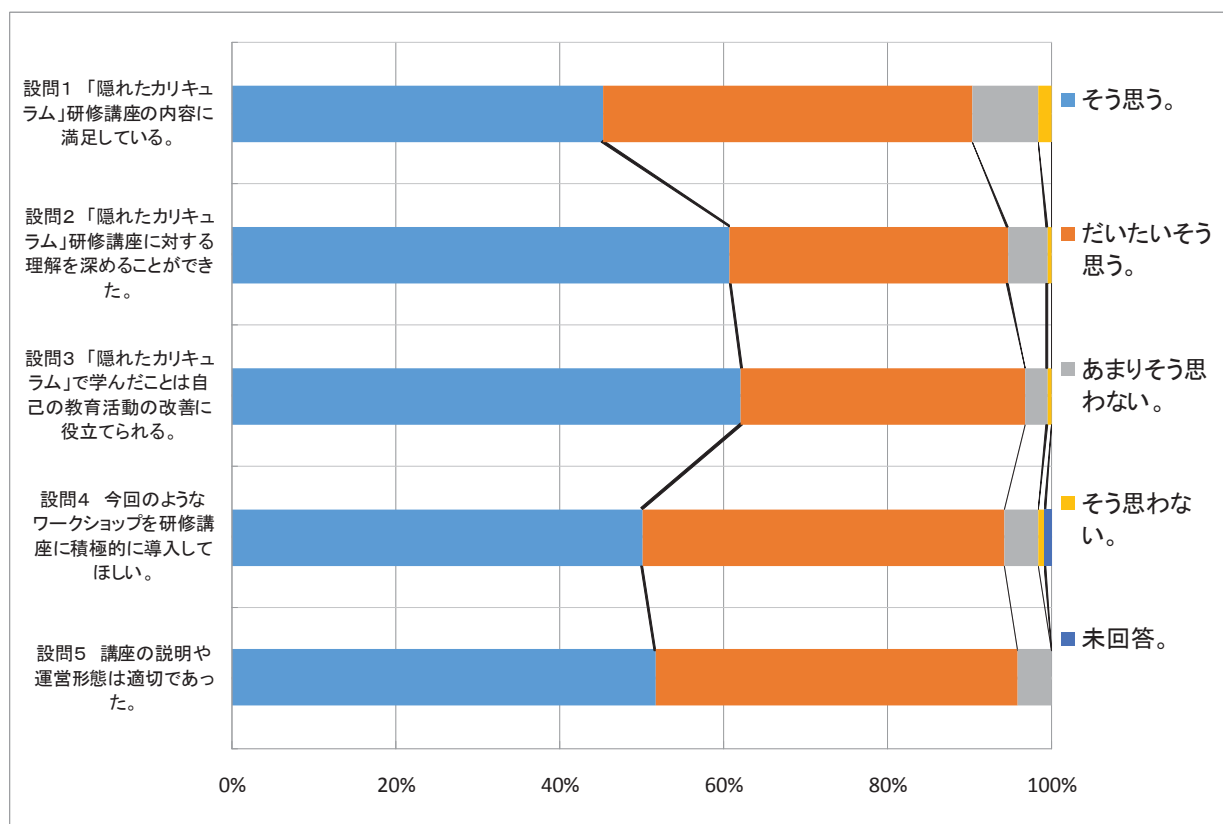
### ○研修を実施した感想及び気付いた点

- ・想像したより「隠れたカリキュラム」に対する認知度が高く、意識をしている先生が多かった（およそ46名中20名が認知していた。）。
- ・事例の取り上げ方として、写真を示したことで参加者の関心を高めることが効果的であった。
- ・アイスブレイクを入れたことで、会場の雰囲気はよくなったが、時間が少なくなってしまった。
- ・リフレクションシートの記入の時間を十分に確保できず、省察の深まりがなかったことから、時間配分に留意する必要がある。
- ・4人でのグループワークは、人数的にもちょうど良かった。また、グループは小、中が混在していたため、考え方など幅広く交流が持てた（4人12グループでワールドカフェを実施）。
- ・事前に机配置を対面式にセットしたので、とてもスムーズにワールドカフェに入れた。
- ・講義を進めて行く中で、「隠れたカリキュラム」が少しずつ認知されてきたことと、参加者の中でネガティブなものからポジティブなものへ意識が移っていったことがわかった。

### Ⅲ 成果及び課題

#### 1 研修の評価方法、評価結果

学校運営研修会終了時に「隠れたカリキュラム」の研修講座について、アンケートを実施した。結果は、以下のとおりである。



★アンケート結果（受講者260名中186名（122名）回答）

※一部の実施ブロックではアンケート未実施

※研修全体の時間設定の関係により講義のみ実施したブロックでは、設問4・5の回答はしていない。

○設問1	「そう思う。」「だいたいそう思う。」と回答した者	90.3%	(186名中168名)
○設問2	〃	94.1%	(186名中175名)
○設問3	〃	96.2%	(186名中179名)
○設問4	〃	95.0%	(121名中115名) ※未回答者1名
○設問5	〃	95.9%	(122名中117名)

今回、石狩ブロックで実施した「隠れたカリキュラム」の研修講座は、ワーク・ショップも含め60分という短い時間設定であった。しかし、アンケートの結果を見ると、設問1から5までにおいて、「そう思う。」「だいたいそう思う。」と回答した者が、参加者の9割以上を占めており、「隠れたカリキュラム」の研修講座には、一定以上の成果があったと言える。また、このアンケートとは別に、「学校運営研修会」に対するアンケートには、「隠れたカリキュラム」についての記述が多く見られた。その内容としては、「大変興味深い内容だった。」「自分の学校を見つめ直す良いきっかけとなった。」「校内研修でも広げていきたい。」と「隠れたカリキュラム」が重要であることを認識し、今後の学校改善に生かしていこうという姿勢が感じられるものだった。「もう少し学びたかった。」「演習にもっと時間をかけてほしかった。」など、研修意欲の高揚に結びつく感想も多く見受けられた。(次項)

○学校運営研修会（空知・石狩・後志）全体を通しての記述式アンケートで、「隠れたカリキュラム」に関わり記載があったもの（研修会参加者74名中54名）。

- ・「隠れたカリキュラム」は初めて知った。良いものも、悪いものも多数あると思うので、改めて見つめ直したい。
- ・「隠れたカリキュラム」は初めて聞いた。負のものについて意識して発見し、改善しなければならない重要なことだと分かった。演習はもう少し時間があると良かった。
- ・「隠れたカリキュラム」という言葉、内容はとても大事で勉強になった。
- ・「隠れたカリキュラム」は今まで意識することがなかったので、今後の実践に役立つ内容であった。
- ・当たり前という視点ではなく、常に問題意識を持たなければいけない。
- ・ワークで実施したことにより、自校の課題とやるべきことが見えてきた。
- ・ワークの時間が足りなく、よく理解を深めることができなかった。
- ・学校の中にたくさんあると思う、改めて考えさせられた。
- ・グループで共有したり、他のグループの内容などを見ることができて良かった。もう少し書く時間がほしかった。
- ・「隠れたカリキュラム」に時間をかけてほしかった。
- ・「隠れたカリキュラム」を意識する良いきっかけとなった。
- ・時間が足りなかった。同感する部分も多くあり、交流がもっとあれば、戻って還元できると思う。
- ・日常の中にたくさんのがあって、今後意識していこうと思った。
- ・「隠れたカリキュラム」という言葉は初めて聞いた。自分の身近な問題であると理解した。ワークショップの手法も参考となった。
- ・とても参考となった。時間が足りなく深まりが持てなかったのが残念。
- ・他の学校と自分の学校が重なるところもあり、学ぶことが多かった。知らないうちに子どもに大きく影響を与えていることが分かった。校内研修で今回学習したことを広げていきたい。
- ・見つめ直す良い機会となった。改善しなければならないことがゴロゴロ出てきそう。
- ・「隠れたカリキュラム」を見つけ、良いことは伝え、悪いことは改善していきたい。
- ・とてもためになった。気付いたところから改善していきたい。
- ・心がけ一つのところも多いと感じると同時に、心を変えるのは中々大変なことだと思った。
- ・自校の問題点を洗い出し、改善策を考えていた。もう少し演習をしたかった。
- ・私たち教員は、子どもの成長に責任がある。教員の意識向上が求められると感じた。
- ・「隠れたカリキュラム」の重要性を再認識させられた。
- ・「隠れたカリキュラム」の話は若い先生と話題にしたい。初任研、10年研でも実施することは良いことだと思う。
- ・時間がもう少しあれば交流もできたと思う。まだ学びたかった。
- ・「隠れたカリキュラム」は初めて知った。教員一人一人が意識して、職場全体で意志統一をするべき。
- ・「隠れたカリキュラム」は大切な考え。「言行不一致」というキーワードを入れることで、大切さ、恐ろしさが伝わると思う。「割れ窓理論」ばかりではなく、「言行不一致」によって形成される「隠れたカリキュラム」という視点を持っていたいと感じた。
- ・「隠れたカリキュラム」は初めて知った。自分の学校と照らして合わせて考えることができるワークシートなど参考となった。他の参加者のワークシートを自由に歩いて見るというのも、研修に使える方法だと思った。
- ・「隠れたカリキュラム」を他の教員にも伝えていきたい。
- ・他の先生方が考える「隠れたカリキュラム」も当てはまる事が多かった。
- ・各校の「隠れたカリキュラム」は大変参考になった。早速実践していきたい。

○学校運営研修会（空知・石狩・後志）全体を通しての記述式アンケートで、「隠れたカリキュラム」に関わり記載があったもの（研修会参加者74名中54名）。

- ・子どもへの注意も、思いが伝わるよう考えながらしていきたい。
- ・「隠れたカリキュラム」は初めて知った。学校としても目を向けていく必要があると感じた。
- ・とても参考になった。多くの「隠れたカリキュラム」が存在すると思うので学校で検討していきたい。
- ・交流したことで、自校の現状を見つめ直し、他校の現状を知ることができた。
- ・「隠れたカリキュラム」は初めて知った。各自が書いたワークシートを見て回る時間がもう少しほしかった。勤務校の「隠れたカリキュラム」を洗い出してみたい。
- ・良くない習慣や行動を児童に改めさせるのであれば、教員も同様に変わって行く必要がある。良い「隠れたカリキュラム」を増やしていきたい。
- ・子どもからの見方、職員としての見え方、様々な意味で学校の改善点を考えると、何かに絞って取り組めることができると分かった。
- ・子どもへ指導する際にも参考となる内容であった。
- ・グループで話ができ良かった。ワークショップ型の研修を本校でも試してみたい。
- ・私たちの日常の一つ一つの行為が大切であることに気づいた。自分だけではなく全体を動かす大切さを学んだ。
- ・「ある、ある」という感じで非常に納得した。裏のメッセージも考えながら教師間の良好なチームワークを築きたい。良い「隠れたカリキュラム」となるようにしていくことで、子どもの生き方そのものも受容していくかと思う
- ・とても勉強になった。「先生が変われば子どもも変わる」。常に意識をしていきたい。他校との交流もできてよかった。演習の時間が短かった。
- ・「隠れたカリキュラム」探しはとても大切。学校改善に役立てたい。
- ・自分自身反省する点が多かった。良い面を探し職場の先生と共通理解していきたい。他校の現状も聞けて良かった。時間がもっとあれば良かった。
- ・とても興味深い内容であった。何気なくしていることが、結果になっている。本校の研修でも取り組んでみたい。職員室の中にも「隠れたカリキュラム」があるということも分かった。
- ・「隠れたカリキュラム」が本当に大切だと実感した。
- ・とても興味深い内容であった。自校の状態を見直す良い機会となった。
- ・紙に書かれていないものでも、教育活動上で必要と思われることは、教員として、学校として、地域や家庭に伝えて行かなければならないと思った。
- ・日々の業務で見過ごしていることに気付く場となった。他校とも交流できてよかった。演習にもう少し時間があるとよかった。
- ・演習も学校ですぐに使えるので勉強になった。自分の「学校文化」を見直し改善していけるような事柄について、他の学校の先生との交流でいろいろと参考になった。時間がもう少しゆっくり取れたらもっと深まったと思う。
- ・「隠れたカリキュラム」は、職員同士でも通じることが分かった。もう少し時間があればもっと深められたのではないかと。
- ・「隠れたカリキュラム」は、もともと知っていたが、改めて考えさせられた。学校の改善点がたくさんあると感じた。
- ・「隠れたカリキュラム」は、即学校に還元できる内容だと思ったので、もう少し議論を深めたかった。

## 2 研修の成果と課題

昨年度に引き続き、北海道教育委員会が主催する各経験年数等に応じた研修において「ヒドゥン・カリキュラム（隠れたカリキュラム）」の研修プログラムを実施した。そのアンケート結果からは一定の成果が見られた。短時間とはいえ、グループに分かれて、ワークショップ形態での演習を実施し、他の学校の事例や事例に対する考え方について交流ができたことや自分のグループでの交流後、他グループへ移動し、情報収集し、交流したことを自分のグループでシェアリングする時間もあり、参加者にとっては、これまでの自らの実践を振り返り、今後の実践へつなげることができる非常に有効な研修になったと感じている。

また、リフレクションシートも最終的には「1. 隠れたカリキュラムの事例→2. 子どもに伝わるもの・こと（影響）→3. 自分がしようと思うこと（改善）→4. 子どもに伝わるもの・こと（影響）」を記載させるものに改良し、「3. 自分がしようと思うこと」が子どもにどのような良い影響を与える可能性があるのかまでをイメージさせるものとした。

一方、本研修講座以外にも多岐にわたる講義・演習等が設定されていたため、時間的制約が生じ、参加者からは、「時間が足りない。」「もっと交流がしたかった。」という声が多く聞かれた（連携協議会の構成員が実施したプログラム全体の研修講座の時間60～75分のうちワーク・ショップの時間は20～30分程度。）。

ワークショップ型の研修講座を更に有意義なものとするには、交流する時間をより多くとれるよう配慮する必要がある。

また、「ヒドゥン・カリキュラム（隠れたカリキュラム）」が、学校現場において、日常的に意識され、学校改善に向かって行くためには、研修会に留まらず、各参加者が、積極的に校内研修等で「ヒドゥン・カリキュラム（隠れたカリキュラム）」に着目し、「教員の資質能力」の向上及び日常実践の改善を推進していく必要がある。

## 3 研修プログラムにおける教育関係者からの意見

開発した研修プログラムについて、宇佐美 寛 氏（千葉大学名誉教授）、野中 信行 氏の両氏からは、全体として「気付かずに『いい』とやっていて見直すべきだということを知らせたことは大きい。」「全国に先がけて北海道が実践し、発信していることは意義が深い。」と御意見をいただく一方、プログラムの内容は、「教師自身の行動や言動が児童・生徒に与える影響」が主となっているので、影響を改善するための具体的方策まで考える必要があるといった御意見もいただいた。

## IV 教育関係機関等との連携により得られる利点

「ヒドゥン・カリキュラム（隠れたカリキュラム）」の研修プログラム開発に当たり石狩市教育委員会及び民間教育研究団体に所属する公立小・中学校教員、北海道教育大学と連携をしながら、協議を進めていったことは、様々な角度、立場からの意見を取り入れ、さらには民間教育研究団体が研究会等で実施しているワークショップの手法なども参考にして、参加型の研修の充実を図ることができた。

また、本プログラム開発の構成員が元公立学校の校長経験者や現役の校長、教頭、教諭であったため、日々の学校現場の実態に即した実践的な内容となった。



## V その他

- ☆「キーワード」 隠れたカリキュラム  
☆「人数規模」 D. 51名以上  
☆「研修日数（回数）」 1日以内（1回）

### 【開発組織】

NO	所 属	職 名	氏 名
1	北海道教育庁学校教育局義務教育課	課 長	辻 俊 行
2	北海道教育庁学校教育局義務教育課教職員研修グループ	主 幹	松 田 賢 治
3	北海道教育庁学校教育局義務教育課義務教育指導グループ	主 幹	中 澤 美 明
4	北海道教育庁学校教育局義務教育課義務教育指導グループ	主 査	行 徳 義 朗
5	北海道教育庁学校教育局義務教育課教職員研修グループ	主 査	松 井 謙 治
6	石狩市教育委員会生涯学習部	次 長	武 田 淳
7	北広島市立大曲小学校	校 長	横 藤 雅 人
8	新ひだか町立桜丘小学校	教 頭	間 嶋 勉
9	北広島市立大曲東小学校	教 諭	山 田 洋 一
10	千歳市立勇舞中学校	教 諭	笹 森 健 司
11	旭川市立愛宕東小学校	教 諭	宇 野 弘 恵
12	恵庭市立恵み野旭小学校	教 諭	近 藤 真 司
13	砂川市立砂川小学校	教 諭	北 河 剛 治
14	北海道教育大学	特任センター教授	寺 田 悟
15	北海道教育大学	特任センター教授	小 松 一 保

### 【問い合わせ先】

〒060-8544

北海道札幌市中央区北3条西7丁目道庁別館8階

北海道教育庁学校教育局義務教育課（TEL011-204-5770）